



第一集

天下第一  
白華

摩周子



イラスト 摩周子  
刺青デザイン 初代彫鯉  
モデル 初代舞華

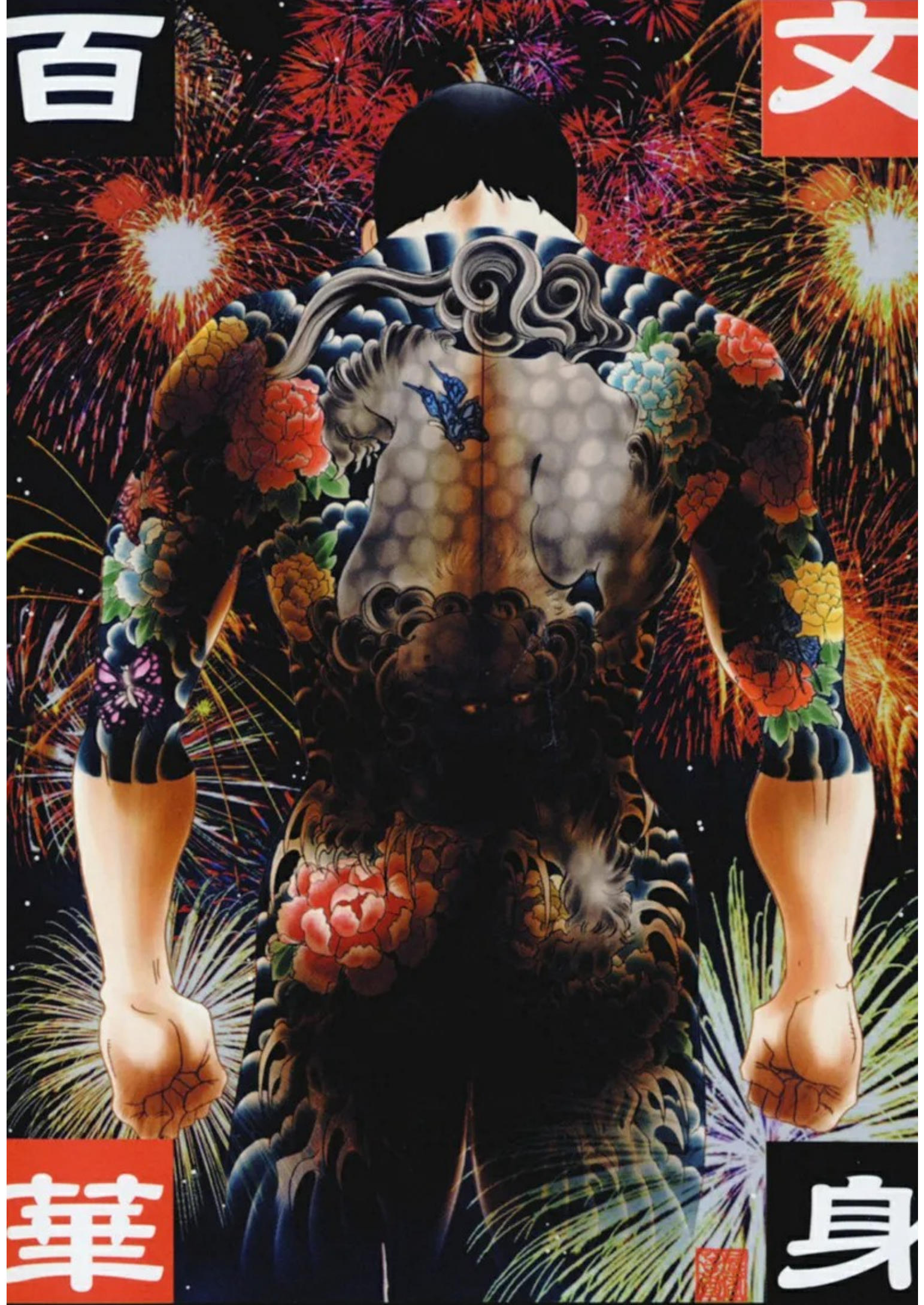




白米  
華地

百

文



華

身

# 目次

001 摩周子 刺青四態 (初代舞華)

002 刺青四態 (夜桜)

003 刺青四態 (花火)

004 刺青四態 (鯉の滝昇り)

005 摩周子 文身百華艶 第二話

021 文身百華艶 第二話

039 文身百華艶 第三話

057 文身百華艶 第四話

075

093

109

文身百華艶 第五話

文身百華艶 第六話

文身百華艶 第七話



火  
白

華  
曲  
分

第  
一  
話

漫画 / 摩周子

タイトルデザイン / 三代目彫よし

チヤツ

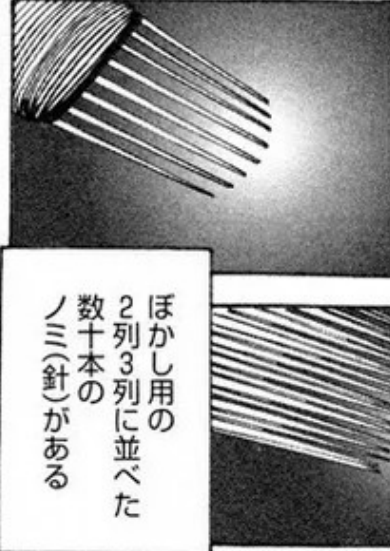
刺青 それは  
まずは我慢である  
体に突き刺さる  
針の痛みに耐えてこそ  
始まるのである



そしてその数十本と  
束ねられたノミ(針)が  
容赦なくその肌に  
突き刺さっていくのである



そのノミ(針)は  
筋彫り用の  
数本の針から



ほかし用の  
2列3列に並べた  
数十本の  
ノミ(針)がある

客が  
彫師を信頼し



彫師はその客の  
思いを色にし  
肌へとつけていく



まさに  
お互いを信じ合い  
客と彫師の  
意思疎通があつてこそ  
完成するものである

よし  
今日は  
これ位にしておこう





ヨロシク  
お願いします



その背の毘沙門天も  
あと一回……いや  
二回で終わりたいな



じゃ  
失礼します



ええ  
わかってます

あつ 山崎さん  
わかってると思うが  
肌のケアだけは怠らない様に



よし  
じゃあ  
始めようか

横浜彫象(ほりきょう)  
日本伝統の刺青文化を  
伝承し己の精神を  
日々鍛え生涯に渡り  
修行の身である



はい

じゃあ次  
岩井さん



ええ  
楽しみに  
してたんですよ今日は

今日から  
色入れだ



カワイイ女でも  
居るなら毎日でも  
行くんだが



あら彫泉さん  
久しぶり  
たまには店にも  
遊びに来てよ



目の前にいい女が  
いるのに随分  
失礼じゃない



モオ

この股ぐらに  
ぶら下がってるモン  
取ってから  
相手してやる



あん



その時にはしつかり  
はさみ込んで  
おくわ



フフ……冗談だよ  
近いうちに  
顔出すよ









やめねエーか  
山崎



彫鼻さん  
あれ  
もしかして



俺が刻んだ  
お前の背の  
「毘沙門天」はこんな事を  
するために彫った  
もんじゃねエ



何だつてエ  
あんた彫師だろ  
金さえ払えば  
彫るのが仕事だろ



ヤクザ者でもねエ  
お前が  
ヤクザのマネ事を  
してるんじゃねエよ



背の「毘沙門天」が  
可哀相だ

うるせエ



そこまで言うなら  
俺はその彫りモノの  
仕上げは請け負う  
事はできないが  
いいんだな



俺の身体に入った  
彫りモノをどう使おうと  
俺の勝手だろ



うっ



ヤクザ者でも  
こんな卑劣なマネは  
しない

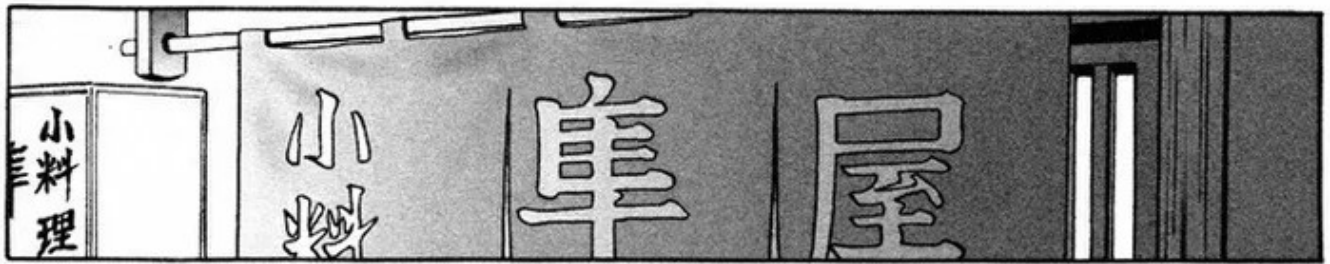


刺青を背負うには  
それなりの  
ルールってのもあるんだ



あんたに  
説教される  
覚えはねえよ









いい凶柄を選んだじゃないか  
 「毘沙門天」は仏教の教えに  
 精通していて諸々の夜叉を  
 率いて邪悪なものを  
 寄せつけないとされている  
 それだけのモノを背負った  
 誇りつものをもって  
 行動しなきゃな



にいちやんあんだ  
 背中に「毘沙門天」を  
 背負ってるんだってな

ええ



折角 痛みを耐えて  
 それだけのモノを  
 彫ってもらったんだ  
 気持ちも大事にしなきゃな



そして徐々に  
 「毘沙門天」が入るにつれて  
 自分の弱さを吹き消す為  
 つい刺青を使って  
 虚勢を張ってしまったんです



僕はこれまで  
 周りから気が小さいと  
 言われ続けて  
 来たんです

その気の小ささを  
 変えたいために  
 刺青を入れたんです



彫りモノってのは  
 安っぽく見せるもんじゃねえ  
 ここぞという時に見せて  
 見栄えるんだ

それが彫りモノを  
 背負った男の「粹」だよ  
 むやみやたらと見せて  
 価値を下げる事も  
 ないだろう



俺にとっても  
 お前の背の「毘沙門天」は  
 気持ちを入れて  
 彫り込んでるモノ



はい

俺達に謝るより  
 背の「毘沙門天」に  
 詫びる事だ



す……  
 すみません





じゃあ  
久しぶりに



どうです  
ほりじゅん  
「彫隼」さん  
なまやしのひめりゅうおう  
瀧夜叉姫龍王は



「彫筆」さんの念が  
こいつを栄えさせて  
いるんですよ



いつ見てもその  
「龍夜叉姫龍王」は  
彫筆の背に  
よく似合う



ああ  
こちらにいる  
二代目彫筆さんが俺に  
彫ってくれたもんだ



この彫りモノは  
もしかして



今じゃこーして  
彫りモノ入りでも  
気軽に入れる  
小料理屋の亭主さ



随分前の話だ  
今はノミ(針)を  
持ちたくても右手が  
いう事をきかねエから

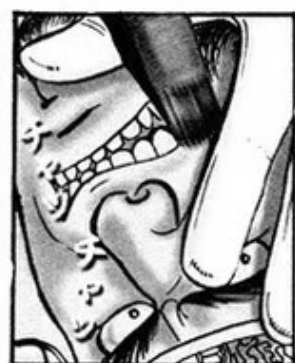
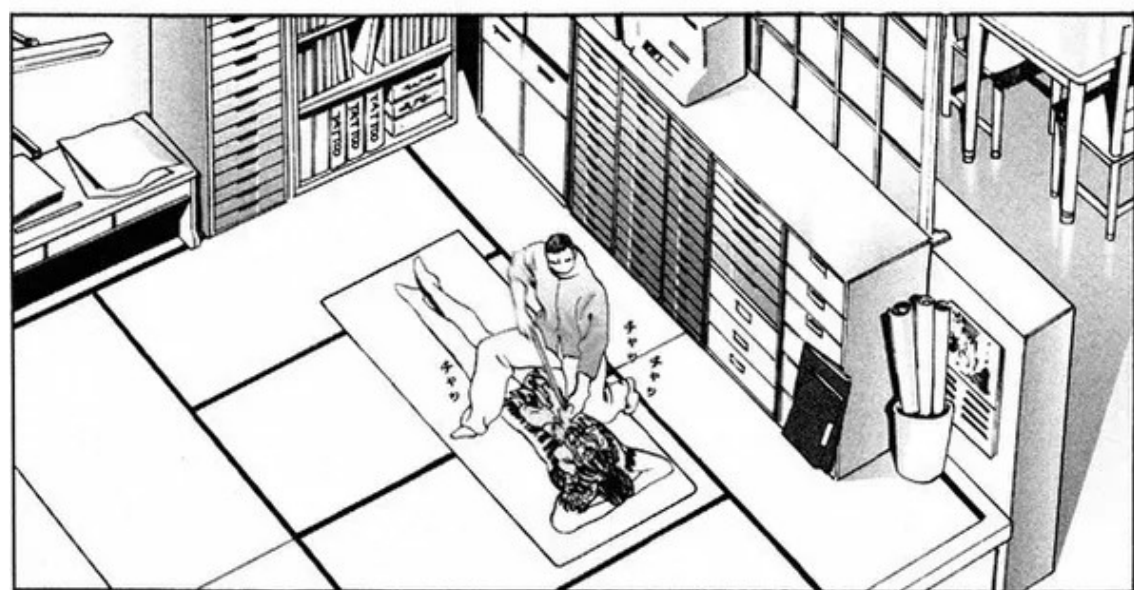



はい  
そうします



そうだったんですか

にいちちゃんも  
仲間が欲しくなったら  
いつでも寄ってくれ  
気さくな奴ばかり  
集まるからよ





刺青——それは  
痛みに耐えた者のみが  
羽織れる墨の衣

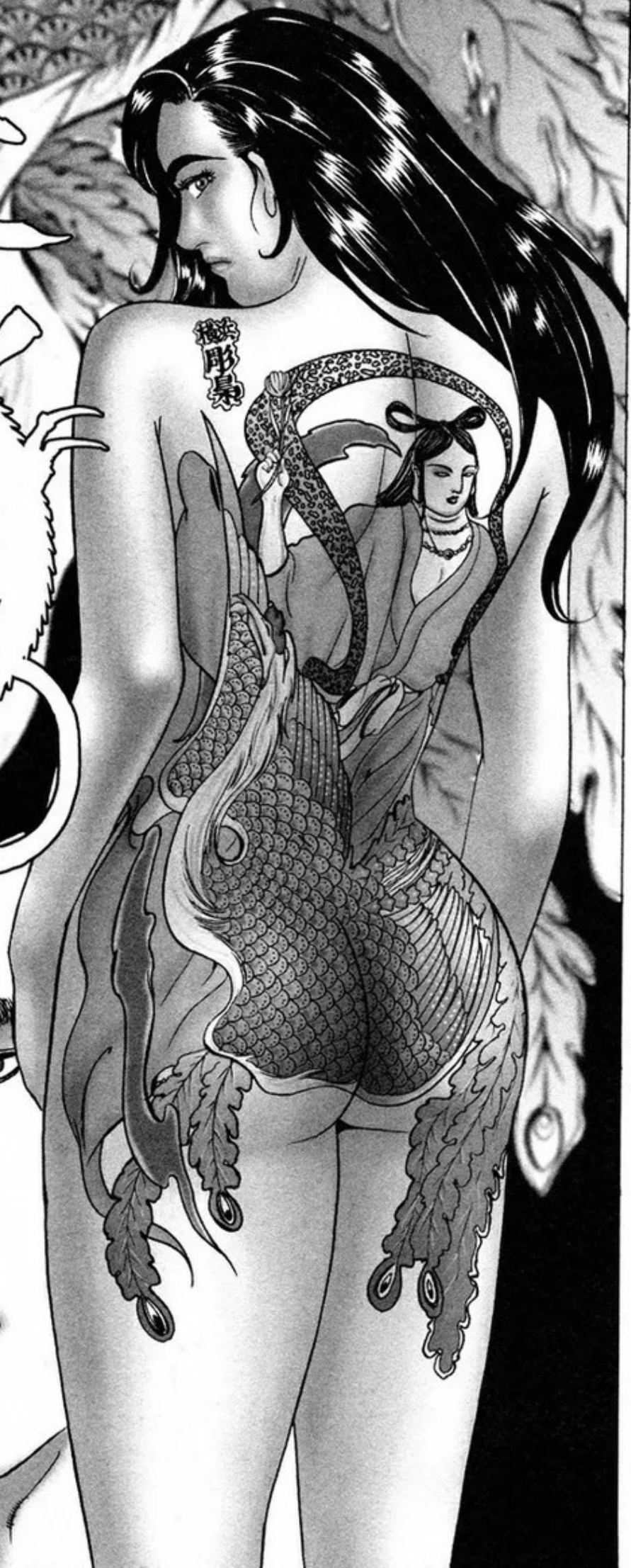
その衣は  
羽織る人間次第で  
生きもすれば  
死にもするモノ



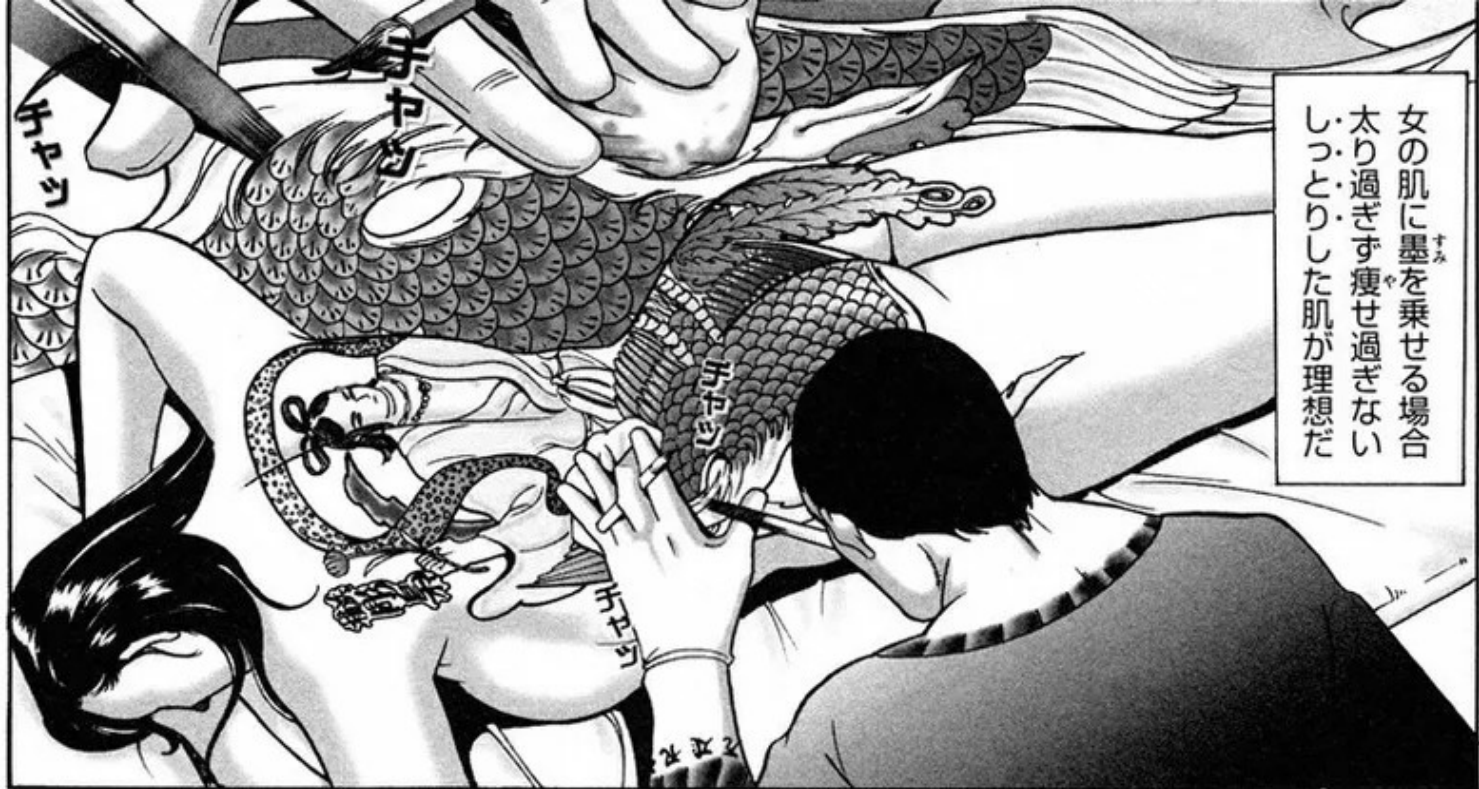
それが  
刺青

文身百華艶 第一話 / 完

文身  
百華  
曲名



第二話



女の肌すまに墨すまを乗せる場合  
太り過ぎずや痩せ過ぎない  
し・つ・と・りした肌が理想だ



ありがとう  
「彫鼻」さん  
何とお礼を言っているか



玲さん  
今日でこの「天女鳳凰」も  
完成だ



その白い肌に  
墨を吸い込む様は  
まさにその背にもう一つの  
命の誕生をも彷彿とさせる



そして  
重要なのは  
透き通る様な白い肌



礼なんていらぬよ  
この背の「天女鳳凰」は  
俺のものであるんだから



あの時「彫鼻」さんに  
出会わなければ  
今頃私は人生に負けて



いい加減にしねエーか  
ここはそんな事をする場所じゃねエ



誰か私を抱いて  
めちやくちやに  
してエ〜!!

ガシヤ



どんな理由があるか  
知らねエ〜が自分の体を  
粗末にするんじやねエ



私なんて…もう  
どうなったっていいのよ



ああ  
少し休ませて  
酔いをさましてやんな



飲みすぎだよ  
その女…

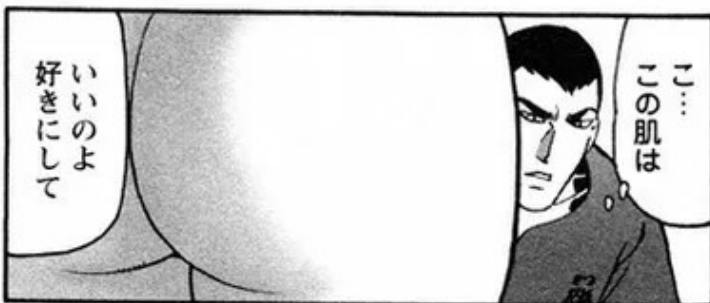
影車さん奥の  
小上がりを使って  
いいですか



うあああ



ん…





それが何で  
刺青を

あんたは今自分を変えたいと  
思っているんだろ  
それも自分の思いと反した  
行動で……



「天女鳳凰」を  
私の肌に

あんたのそのきれいな肌に  
俺があたためてきた  
「天女鳳凰」生まれさせて  
やりてエーんだ



それ  
どーゆー事？



天女は天上界に住む女人  
すなわち幸せをもたらす象徴  
そして鳳凰が鳴く時は  
立派な人生の誕生を意味し  
その羽を広げて羽ばたく時は  
世の中すなわち君の人生の  
新たな扉が開かれる時

そして何より  
ノミ(針)の痛みを耐えた  
時こそどんな辛さも  
乗り越えられる勇氣と  
強さが生まれるはずだ



辛さを  
乗り越えられる  
強さ!!



ありがとう  
彫鼻さん  
この「天女鳳凰」は私の  
守護神になるわ

刺青をファッションとして  
肌に入れる者も  
少なくないが  
だがその背に刻んだ  
墨の肌によって  
自らの人生をも  
変えたいと願う者が  
少なくないのも事実



玲さん完成したよ  
よくここまで  
我慢したな



その強さと  
勇氣がやっと今  
私の背に

そして男勝りの仕事をすることで  
バカな亭主の尻を自分が拭き  
すべてをやり直すと



柳田玲 26才  
亭主の失踪とともに  
借金300万の  
肩代わりを…  
そのため一時は  
自らの体を売り物にと  
考えていた時  
「彫果」との出会いと  
その背の「天女鳳凰」とに  
よって強さをもらった



何だと  
コラア!!



別に逃げ隠れしてた  
訳じゃないよ



柳田さんの奥さんよ  
やっと見つけたぜ  
こっちが借金返済のため  
紹介した店にも顔ださんと  
思ったらこんなチンケな  
仕事やってたとはな



この金を持って  
とっとと消えな  
仕事の  
ジャマだよ



少しでも払ってやってんだ  
文句言わず  
黙って帰らな



なめてんのかア  
このアマア!!



たったの  
2万だと?



いくら  
おどされたって  
今出せる金はそれだけ  
あきらめな

俺達もガキの使いで  
来てるわけじゃ  
ねえんだ  
これじゃ利益にも  
なりやしねーんだよ!!



俺はまだあんたの  
この体あきらめちやいねエ  
店に出て客を取りたくねえなら  
俺の女にしてやっても  
いいんだぜ



やめねエーか



気やすく  
触るんじや  
ないよ!!



月々の手当てとして  
借金の返済額くらい  
出してやってもいい...どうだ



体を売りモノに  
商売なんか出来るか

私はこの彫りモノと引き換えに  
女を捨てたんだよ





近いうちに  
又来るぜ ちゃんど  
金の用意をしとくんだな



わかったら  
とっとと帰りな



ねエちゃん見かけに  
よらず凄いモン  
しよってんだな



あんな  
借金取りなんか  
負けてられないんだ



これ  
着なよ

ありがとう





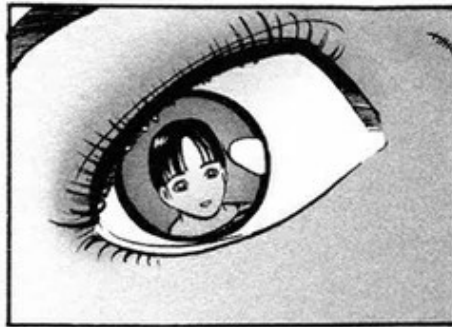
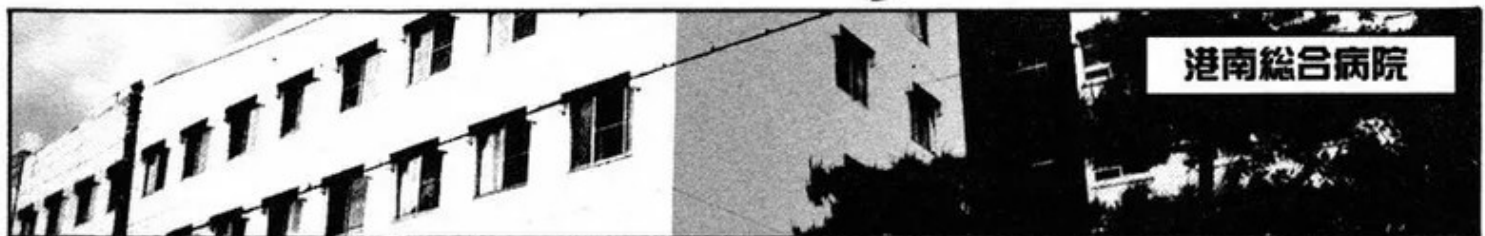
ちよつと  
柳田さん!  
大丈夫? 柳田さん



パタン



港南総合病院



お母さん

ん



こんな小さな子供が  
いるのに無理を  
し過ぎじゃないのか



誠……  
ごめんなさいね  
心配かけて……



けど私はこの子の  
為にもこんな所で  
寝てられないんです





借金はあと  
どれくらい  
残ってるんだ



奥さん 早く返済しないと  
利息が増える一方だぜ

パタン



ちよつとずつ  
払っても  
ほとんどは  
利息分にしか  
ならないし



田所の所か  
だったら話はつけやすい



田所金融

で…さっきの街金は  
どこの街金だ



まるまる300万  
残ってるって事か



いけない  
そんな事

俺が用立ててやる金は  
あんたにやるんじゃない  
貸してやるんだ  
勘違いするんじゃないよ



まさか  
彫鼻さん

あんたは  
しつかり体を  
休めるんだ



それに最高の肌に  
生まれたばかりの  
「天女鳳凰」がやつれて  
死んでいく姿なんて  
俺は見たくねえんだ

礼なんていらぬ  
俺は生きた金の  
使い方をしたいだけだ



ほ…彫鼻さん  
ありがとう



めずらしい客だと聞いたが  
「彫果」あんただったか  
しかも女の借金の肩代わりとは



その金で  
あの女にはもう  
近づかないでくれるな...  
若いのにも言っておいてくれ



久しぶりに  
顔を合わせたんだ  
ゆっくり  
してったらどうだ



ちよつと待て  
彫果



じゃあ  
頼んだぜ



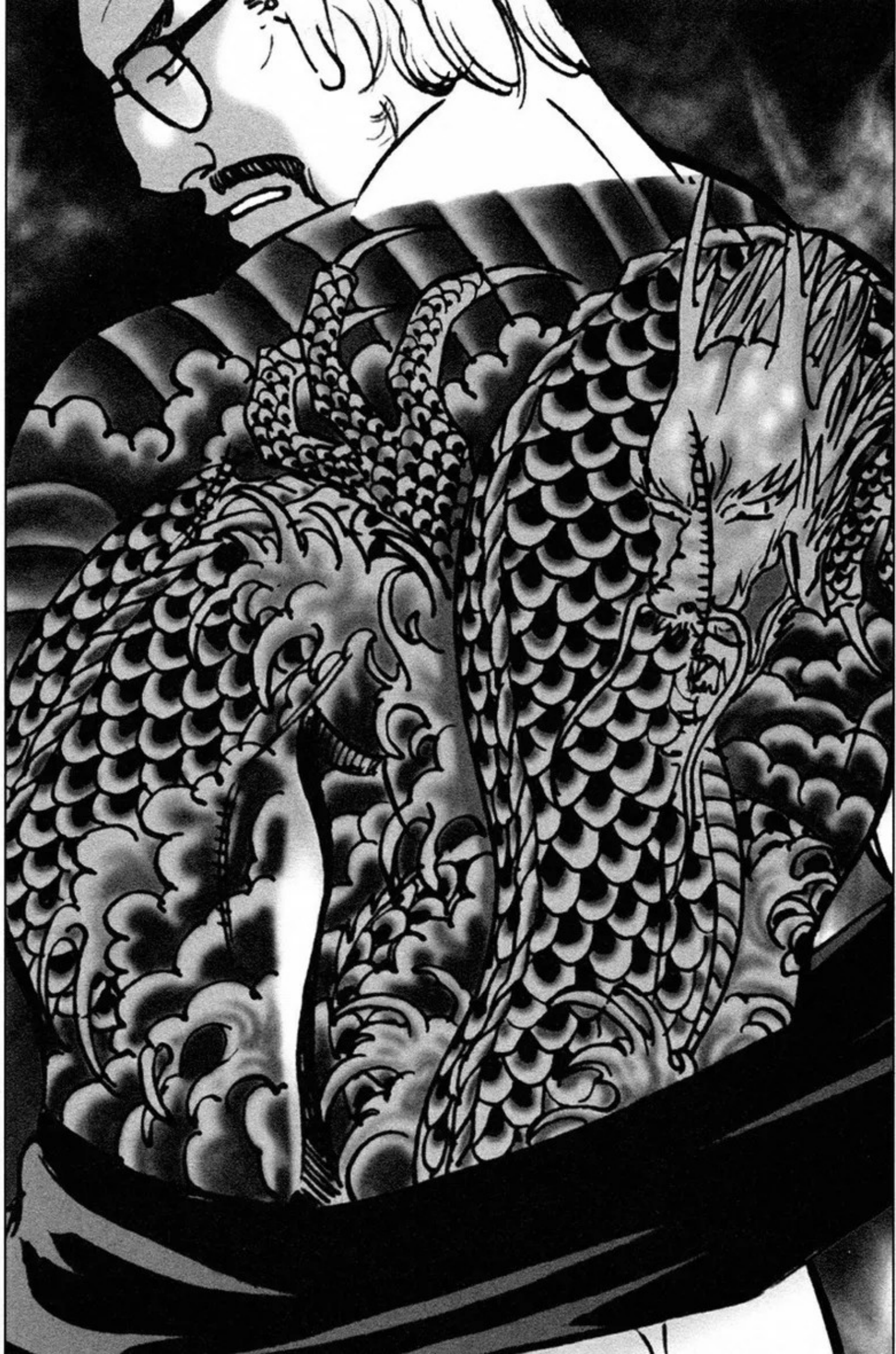
ああ  
こっちは返済さえ  
済めば用はねえからな



俺もそんなに  
暇じゃねーんだ



だったら  
俺の背の龍も  
多少色褪せてきやがった  
今度色ツキしてくれるか







何しやがる  
このアマ!!



誠に  
触らないで!



そんな  
おつかねエー顔  
すんなよ



よくも又ケヌケと  
帰ってこれたわね  
あたしが今までどれだけ  
辛い思いを  
したと思ってるの



ヨオー誠!  
父さん今度  
遊園地にでも  
連れてってやる



あんたのその  
腐った目で  
私のこの背を見な!!



だから悪かったよ  
これからは心を入れ直して  
働くからもう一度  
やり直してくれ!! 玲!!



もう遅いのよ  
この家には  
あんたなんて  
必要ないのよ

スツ





スツ

そして新たな  
人生の始まりを  
告げる様に  
鳳凰は羽ばたいた

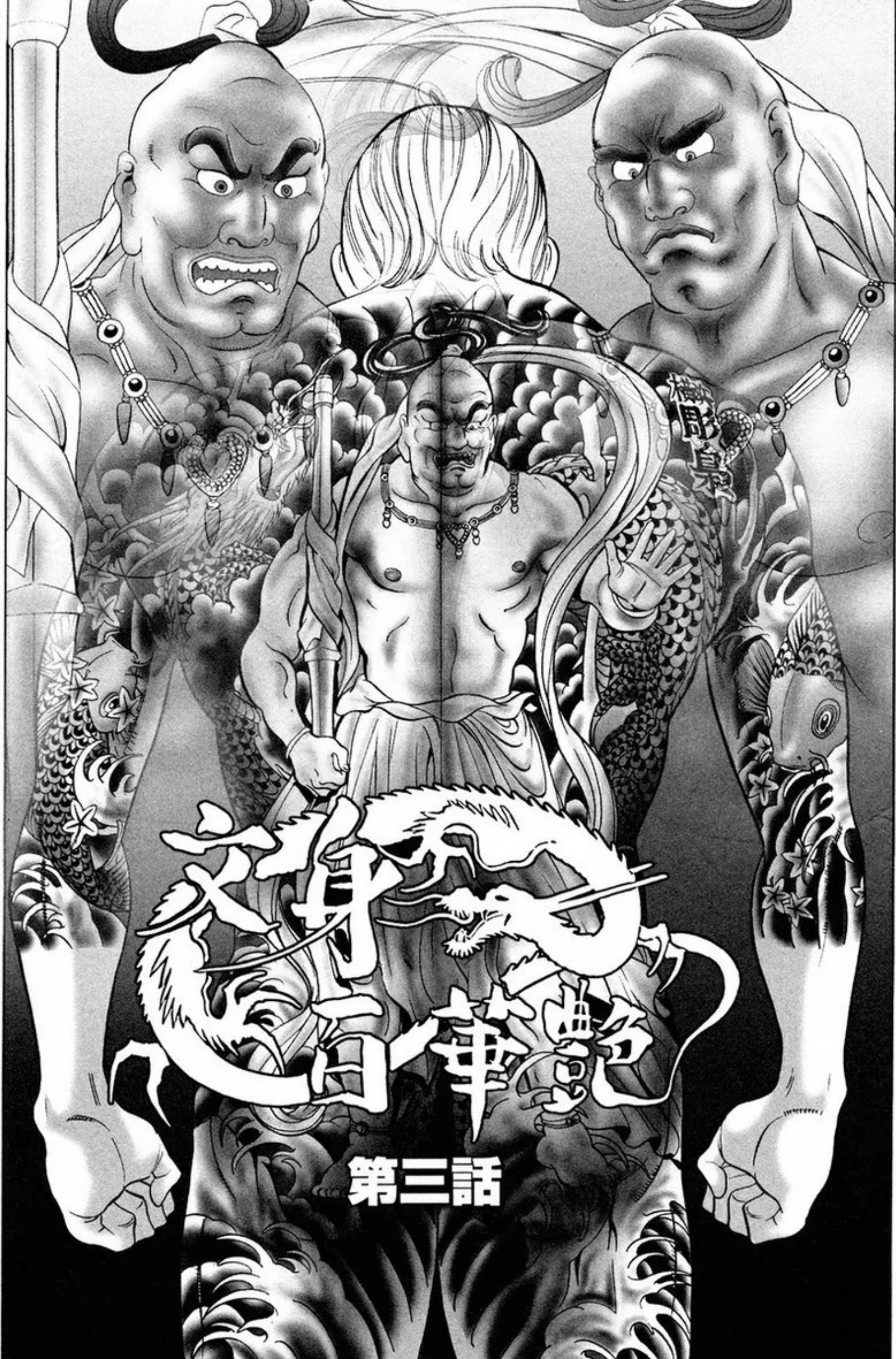
肌に針を刺すまでは  
迷いがあったかも知れない  
しかしノミ(針)の入った瞬間  
痛みとともに迷いは薄れ  
この「天女鳳凰」が入った今  
自分の進むべき道に  
迷いすらない

彫師の持つ数本に束ねられた  
ノミ(針)には新たな命をも  
生むほどの情念が込められ  
肌に浮き上がらせるのである

文身百華艶 第二話 / 完

鳳凰

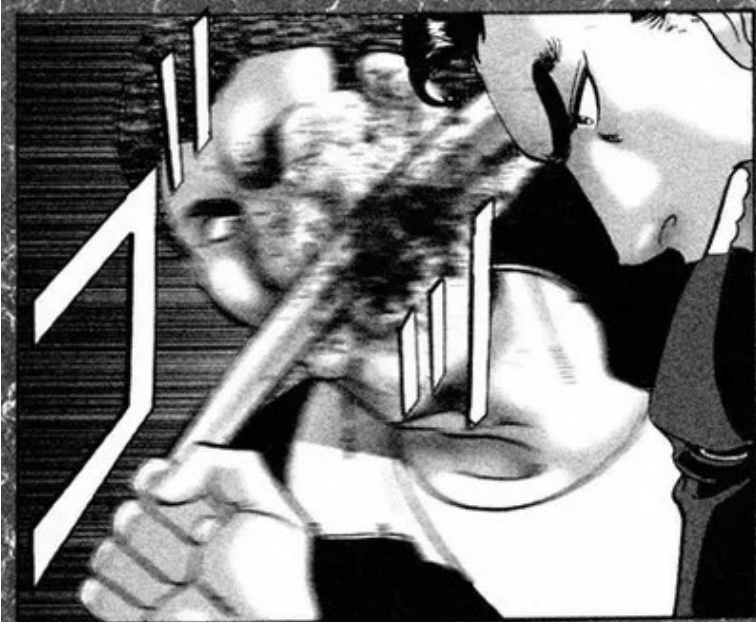




纹身  
百華  
艶

第三話



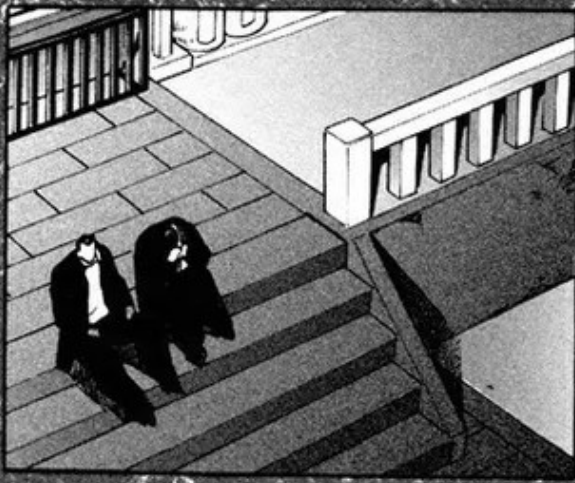




ちっ  
しっ  
っかりしろ



まだ足りねえなら  
たっぶり相手してやる  
次はどいつだ



どうして？  
そりゃ  
幼馴染み  
だし



どうして  
凌ちゃんはいつも  
僕を助けて  
くれるんだ



弘ひろがいなきや  
俺おれは多分  
高校は卒業  
できねエからな



俺  
やりてエ事  
があるんだ

凌りょうちゃん  
は卒業したら  
どうするんだ



やりたい事？



その鯉はおっちゃんの背で  
今にも動き出しそうで……  
そんなモノを彫れる人ってのは  
どんなんだろうって



じゃあ凌りょうちゃん  
ヤクザになるのか

ヤクザじゃないよ  
彫師だ……俺  
刺青彫師に  
なりてエーんだ



彫師か  
俺おれよくわかんねエけど  
凌りょうちゃんならきつとなれるよ



弘ひろ……  
いいモノ  
見せてやる



弘ひろ お前刺青って  
知ってるか？ 俺随分前に  
銭湯で背中に鯉の刺青の入った  
おっちゃんを見たんだ  
それが今でも忘れられなくて





本当にいいんだな



きつと凌ちゃん（りゅうちゃん）は日本一の彫師（うでうし）になるって信じてるから人肌（ひとがみ）に初めて彫（う）ったのが僕の背（せ）だって自慢（じまん）になるし



こんな俺（おれ）が弘（ひろ）の背（せ）に彫（う）ってもいいのかわ



ああ頼（たの）むよ凌（りゅう）ちゃん

わかった一生懸命（いっしょうけんめい）恥（は）ずかしくないモノを彫（う）ってやる



俺（おれ）はその時（とき）幼馴染（わかなじ）みの背（せ）を借り初めて彫師（うでうし）の道（みち）を歩（あ）みはじめた

そして他人（た）人の肌（がみ）に刺（さ）す一突き（ひとつき）の墨（すみ）の重み（おも）もその時（とき）に感（か）じた



こいつに恥（は）じないような男（おとこ）の姿（すがた）見（み）せてやる



立派（りっぺ）な仁王（におう）だありがとよ



宮本（みやもと）さん完成（せいせい）だ



スツ



そしてこの男（おとこ）もまた自分のするべき事（こと）を心（こゝろ）と身体（からだ）に誓（ちか）ったのだらう



極ごく鮫さめく!!  
命いのちもらうぜ!!



元獅子神一家の宮本じゃ  
ワシらの組長も若頭のシャブ売りや  
やってる手前らの傘下になんか入りたくはなかった



貴様は…



親父



今の御時世、お前ら弱小一家が生業って行ける時代やないんじや傘下に入れてやった事がお互いのため



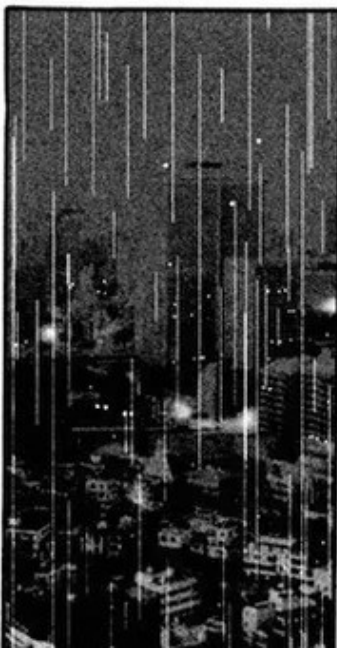
ただワシら子の為に…そして親父達はワシらに対してケジメを付けて命を断つたんじや



じゃあしいく!!



動くんじやねえ  
えぐるぞ





どうしたんだ



先生…  
先生!! 大変です



!!



ここは

この彫りモノは  
僕の背と二体で一对となる  
図柄…  
それもこれを彫ったのは  
凌ちゃん



す…すみません  
先生…

よし  
すぐに銃弾摘出手術を  
するぞ  
急いで用意するんだ



先生  
この患者さん  
もう助からないかと  
思います  
それに…

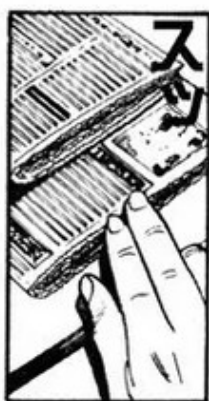
看護婦のくせに  
人の命を何だと思ってる  
そう簡単に諦めるんじゃない  
それにどんな人間だろうと  
俺達は命を救うのが仕事だ



はい  
先生



この傷からいって  
すぐに警察に連絡を  
取ったほうが…  
事件に関係のある場合  
医者の義務…  
それ以上  
くだらん事を言うな





正直言って恐いです  
けどあなたの背の仁王を  
見た瞬間 どうしても  
あなたの命と背の仁王を  
救わなければと...



俺は極道だ  
あんた恐くない  
のか



ええ背の仁王には  
多少傷が残るが  
死んで灰にするには  
もったいない代物だからね



なぜなら



変わってると  
言えば  
変わってるでしょうね

あんた  
変わった医者だな



これは私が医者になる  
随分昔 あなたの背と  
同じ彫師「彫鼻」が若い頃  
人肌初めて彫ったモノ  
彼とは昔からの  
友人なんだ



仁王の刺青  
それも卍形



私の背にも  
同じモノが  
入ってるんですよ



先生!!  
居るんだろ  
出て来んかい!!

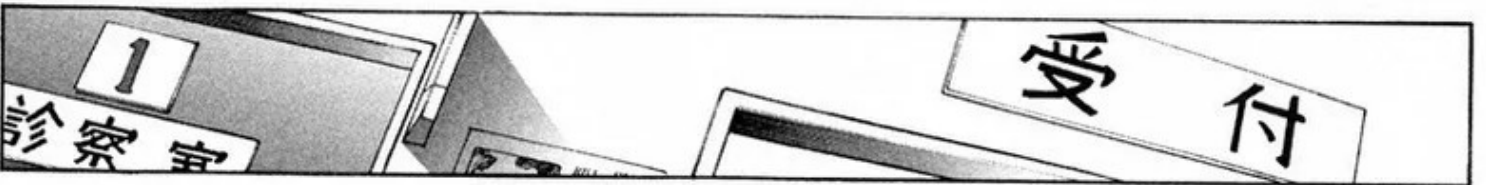


あなたが  
私の病院前に倒れて  
いたのもお互いの背の  
仁王が呼び合ったのかも

お互いと同じ彫師の  
彫った仁王...それも  
阿形と卍形と  
背負ってるとは



俺の命  
この背の仁王に  
救われたって事か





同じ地域住民同士  
仲良くやっていこうや  
先生



あんたの所だつて  
今より綺麗で  
立派な病院に  
なるんだ



俺達だつて無理言つてる  
訳じゃねえほんの  
50m 移転してくれるだけの  
ワシらの風俗店の営業  
許可が下るし



その手を  
離さねエか

何だとオ



何を言われても  
考えを変える訳には  
いかない…そろそろ  
午後の診察時間  
お帰り下さい



関係ねエ奴は  
すつ込んでろ



!!

そんなに  
関係なくも  
ねエーんだよ



手…  
手前は  
一体…

この先生には  
俺の2つの命を  
助けてもらった  
恩義つてものが  
あるんだ



誰と言われても  
俺はここで  
世話になつてる  
患者としか  
言い様がないな



誰じゃ  
手前は



へエ俺も有名になったもんだな

仁王の刺青... あつ... あんたまさか極道組組長を殺った...



一人殺ろうが二人殺ろうが同じ様なモン



どの組に頼まれてるか知らんがこの病院に今後指一本出したら命取ってやるから覚悟しとけや

うっ



ちっ



わかったらとつとと出て行きやがれ



礼にはおよばねエーよ



今度は私が助けられましたねありがとうございます



極道の世界情報はあつという間に流れるからな



まさか

きっと奴らは仲間を連れて俺の命を取りに来るこれ以上あんたに迷惑をかけられねエ



電話借りるぜ





宮本だ  
な  
極  
絞  
組  
組  
長  
殺  
害  
容  
疑  
で  
逮  
捕  
す  
る



ど  
け  
エ  
ク  
!!  
警  
察  
だ



ワ  
シ  
ら  
の  
獅  
子  
神  
一  
家  
は  
潰  
さ  
ね  
エ  
ク  
ぜ  
!!



カ  
ン  
ヤ



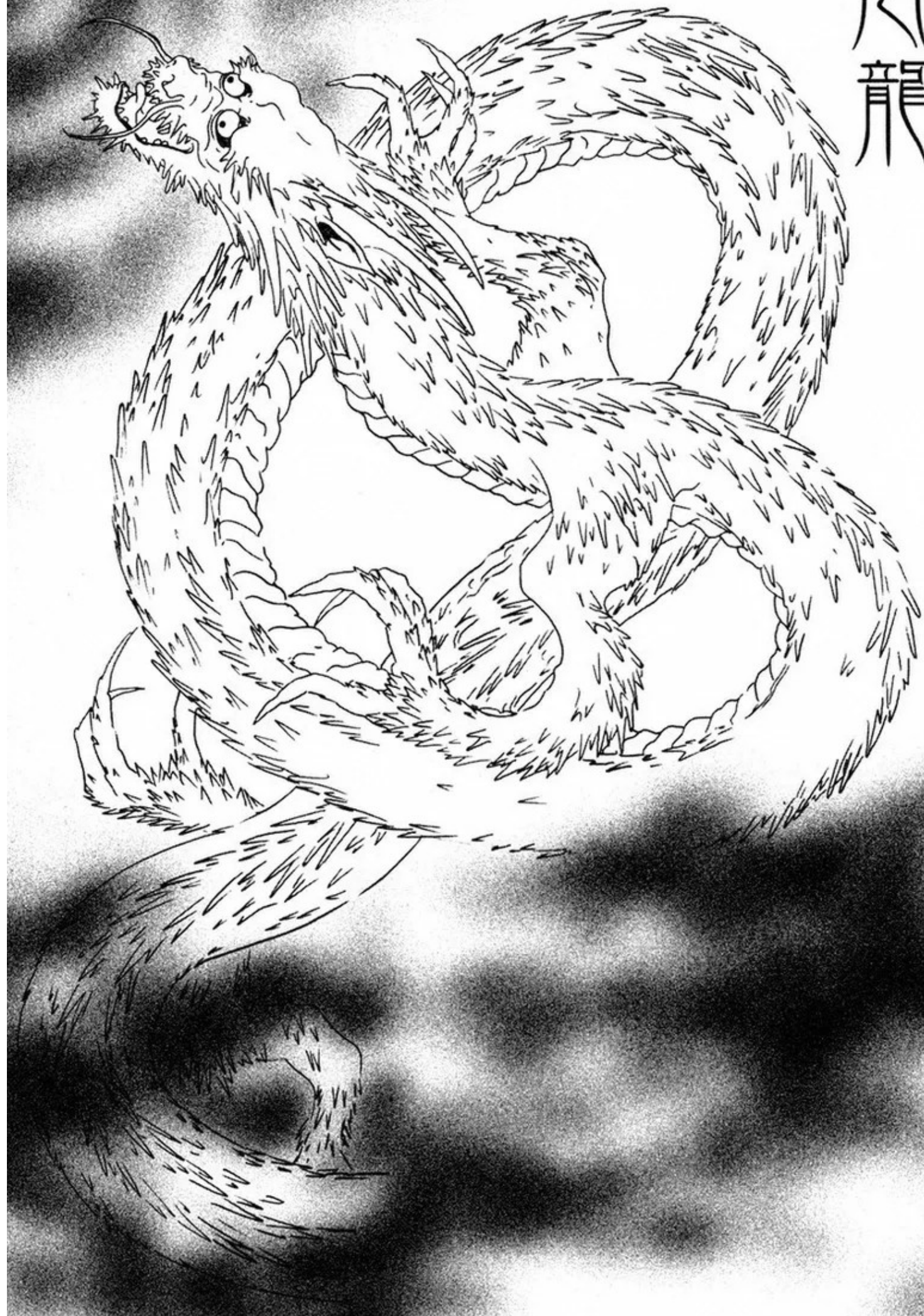
男  
達  
に  
は  
生  
命  
を  
賭  
け  
て  
守  
る  
べ  
き  
も  
の  
が  
あ  
る  
生  
命  
を  
賭  
け  
て  
や  
り  
と  
け  
な  
け  
れ  
ば  
な  
ら  
な  
い  
事  
も  
あ  
る  
な  
ぜ  
な  
ら  
肌  
に  
刻  
ん  
だ  
墨  
に  
誓  
っ  
た  
男  
の  
生  
き  
様  
だ  
か  
ら

指  
定  
暴  
力  
団  
極  
鮮  
組  
殺  
害  
容  
疑  
者  
宮  
本  
逮  
捕  
自  
称  
組  
員  
数  
人  
に  
逮  
捕  
状  
八  
の  
男  
に  
対  
し  
て  
捕  
縛  
さ  
れ  
、  
同  
日  
目  
録  
し  
て  
い  
た



文身百華艷 第三話 / 完

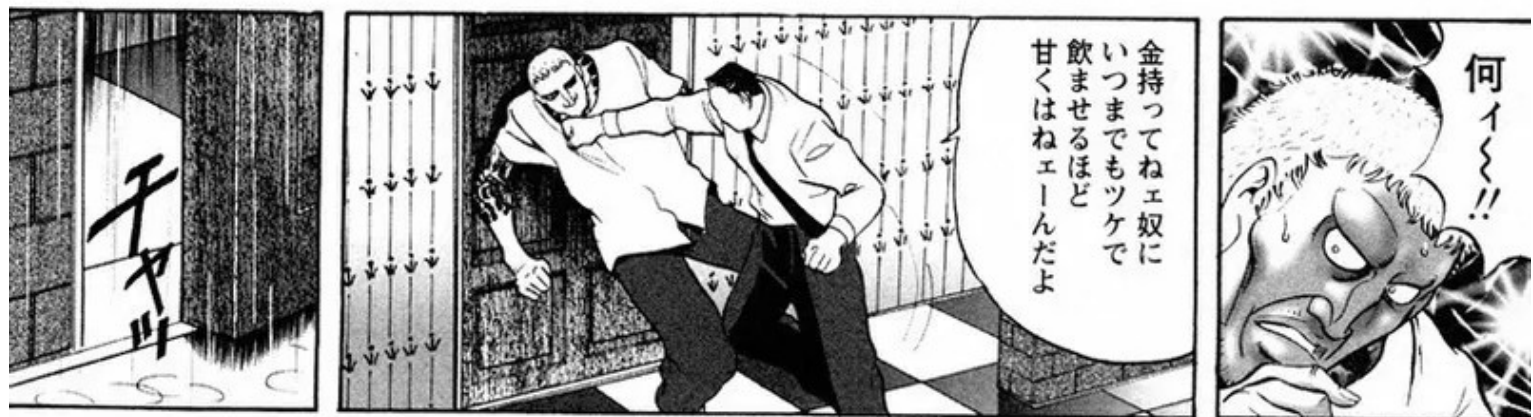
震龍





龍身  
艶華  
百

第四話

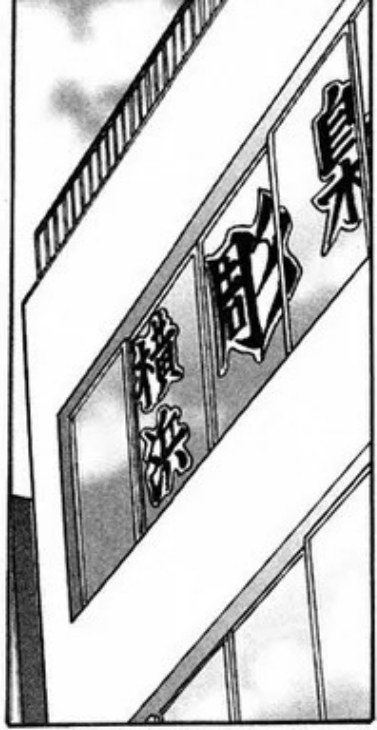




この腕の  
こいつです



カバーアップ？  
そりゃ構わんが  
モノはどれだい



噂じやかなりの腕って  
聞いて行ったが  
このザマだ



はくうん  
白雲だ!!



随分ひでえ代物だな  
似非彫師にでも  
頼んだのか？

浅草「白雲」って  
奴さ

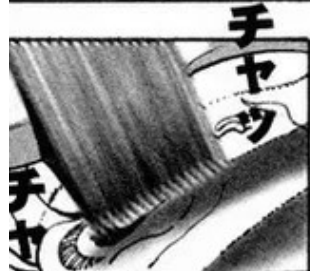


あ：ああ  
引き受けましょう

彫鼻さん  
どーなんだ  
カバーやつてくれるのか



あの野郎  
イカしてるぜ



あれほど  
彫りモノに敵しかった  
奴に一体…何が



まさか  
あの白雲が



白雲との  
出会いは  
5年ほど前

ところで彫泉  
浅草で「白雲」って  
若手で凄いのが  
いるらしいが  
知ってるか

ええ最近  
名前は聞きますが  
まだ作品を目にした事は  
ないですね

俺達の時代は  
彫師同士  
横の繋がりなんて  
持たなかったが

今の時代  
そんなんじや  
時代に取り残される  
一度その白雲に会うのも  
いいだろうな

ええ  
僕も一度会って  
みたかったんです  
噂どおりの人物なのか

これからの彫師は  
いろいろな流派との  
交流を持って  
己の技量を高める事や

日本伝統の刺青文化を  
伸ばすのも若手である  
お前達の役目

あんたが  
横浜の「彫泉」さんか  
俺も噂には聞いていて  
会ってみたかったんだ





お互いの作品を  
見せ刺青について  
語り合う



この時の出会いにより  
2人はお互いの作品を  
見せ合う技術を  
高め合う事になる



白雲さん  
あなたの事も横浜まで  
流れてきていますよ



二人は



そんな日々が  
続くなか



「瀧夜叉姫龍王」  
何てインパクトの  
ある凶柄だ



お互いの肌も  
見せ合った



だが徐々に  
お互いの仕事が  
忙しくなるにつれ  
おのずと交流は減ったが  
相手に対するライバル心は  
薄れてはいなかった

チャッ

チャッ







いい加減にしねエ〜か!!



一体何やってんだ  
白雲はくうん



お前は彫鼻はりびな……



手を離しな!!



チツ 手前に俺の気持ちなんかわかってたまるか

同じ彫師少しはあんたの気持ちわかってやれると思うが



何しやがるこの野郎

こんなになっちまってどーしたんだよ白雲はくうん



気休めで物事言ってるじゃねエ



ちよっとした壁に突き当たってるだけだろ



怖えんだよ針を刺すのが怖くて怖くてたまねエーのさ



あれほどの技術を持つてるあんたが怖いなんて



ヤクなんか  
飲んでんじや  
ねエよ



どうせ  
ヤクに変わると  
わかってて金なんか  
渡せるか  
しっかりしねエーか



俺は  
こいつがなきや  
針が持てねえんだよ



ヤクに逃げたって  
何の解決にも  
ならんだろうが



そんなに  
心配するなら  
金をくれよ  
彫臬く!!



彫りモノを  
焼かれる?



彫臬  
手前自分の彫った墨を  
目の前で  
焼かれた事があるか



それは  
彫臬!  
あなたの背の  
「瀧夜叉姫竜王」だよ



だかいくらやっても  
満足のいくものが  
描けなかった...俺の頭から  
離れない刺青



彫臬 あんたと  
出会った頃 本気に  
あんたと負けじと  
彫りモノに俺の命を入れて  
彫っていた



二代目影隼の彫った  
俺の背の「瀧夜叉姫竜王」が



伝統を守りつつ  
新しい技術を入れた  
その「瀧夜叉姫竜王」  
俺にそのモノを  
越える事ができるか



いつも自分自身に  
問いただし……そして  
影隼のそれを越えたいと



あんななら  
きつとできるさ

だが俺が入りたいモノは  
そうは客が好んでは  
くれなかった



一体  
その絵とは？



お前の背の  
「瀧夜叉姫」の父とされる  
平将門と  
七人の影武者だ



平将門と  
七人の影武者だと



将門は摂政藤原忠平に仕えていたが  
父の遺領をめくり紛争 おじの国香を殺害後  
おじ良兼・貞盛をも破り  
常陸国府を焼き払い関八州を併せようとして  
下野・上野の国府をも陥れ  
自らを「新星」を称した  
将門は鋼の肉体を持ち七人の影武者を従えていたとされる  
平 貞盛・藤原秀郷は連合して将門を攻め  
秀郷によって打ち取られ命を絶った

打ち取られた首は3ヶ月経つても  
その色は変わらぬ自らも輝き  
続けていたという……夜は夜で  
失った体を求め彷徨っていたらしく  
そしてある夜 首はすさまじい  
怨念によって宙を飛び関東に帰った  
その首は胴体の埋められた場所に落ち  
無気味な閃光を放ったという



こいつで俺は影隼さんを  
越える事ができると  
確信していた





お前は彫師の女だ  
俺はお前の肌を  
自由に使うが  
いいな

そして一人だけ  
その絵を羽織る奴が  
いた  
それは



そして俺は  
その女とともに  
時の経つのも忘れ



……



女の肌に  
武者絵の  
平将門を……



3日3晩  
昼夜を問わず  
その肌に針を  
刺し続けた



平将門と言えは  
数々の伝説に怨念のある  
人物……だか刺青にまで  
怨念があるなんて  
俺自身信じていなかった

その肌が赤く染まり  
その血を自らの命として  
吸い上げる様に  
将門の姿がそこに  
生き生きと浮び上がる姿に  
俺は喜びをおぼえた



その女は数月して  
豹変しやがったのさ



将門の  
怨念だと？



あんたが  
これを入れた日から  
私はこいつらに毎晩  
襲われ続けているのよ



一体どうしたって  
言うんだ



消して  
この恐いモノを  
今すぐ消してよ



どーして私に  
こんな恐いモノを  
入れたのよ!!



来る日も  
来る日も  
私の首を  
狙って来るのよ



将門の首が飛んだのは  
誰もが知る事実  
だが俺は首切り将門を  
入れたおぼえはねえんだ

こ……  
こんな  
バカな  
将門の首から  
血が……



そんなバカな  
お前の気のせいだろ



俺自身この目で  
見たんだから  
まぎれもねえ事実

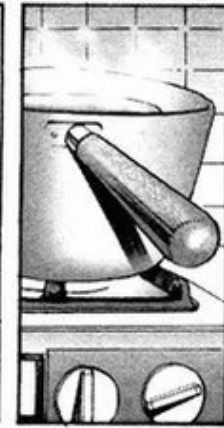
そんな事が  
本当に



気のせい?  
これが気のせい  
だって言うの!!



※邪悪な精霊や死霊、怨霊、生霊などおよそ自分に害を与えそうなものの殆どから護ってくれるという霊符。





何て  
バカな  
事を

ギヤアアアアア

ドロ



その焼けただれた  
彫りモノが針を持つと  
脳裏に浮かび上がって  
くるんだ

自分の持てる力を  
注ぎ込んだモノを  
目の前で焼かれ



手前の  
都合のいい事  
言ってるじゃねえよ



情けねエが  
こいつを打つと  
何もかも忘れて  
集中できるんだよ

だから  
ヤクに逃げてるって  
のか



また同じ事が  
起こるんじゃないかと



終りだよ  
俺はもう  
終りだよ

手前勝手に  
絵を背負わされる  
気持ちになって  
みやがれ



ただ数ミリの深さだが  
その数ミリの墨の重みが  
相手の人生を駄目にする  
事を俺達彫師はよく  
知ってるはずだろうが



元はと言えば  
手前が相手の気持ちを  
理解せずに針を刺した  
結果だろうが



俺に俺に  
どうしろと言うんだ  
彫鼻……助けてくれよ

手前が彫師を辞めようが  
ヤク漬けになろうが  
知った事じゃねエーが  
今までお前の腕を買って  
来てくれた客に対して  
辞めた事でケジメを  
付けたと言えるのか



手前も  
痛みを味わう事だ

墨を羽織る事は  
どんな痛みだったかの  
どんな気持ちなのか  
もう一度手前で  
感じるしかねえんだよ  
白雲

相手との  
無言の信頼感が  
あってこそその墨の衣は  
本物になるんだ

彫師  
俺の肌  
突いてくれるか



こんなに  
痛エもんだったかな  
クツ

お前の気持ちの  
どこかに迷いがあるから  
痛みが増すんだ

彫師稼業に  
なれ合い客の気持ちをお  
おさなりにしてたって  
事か



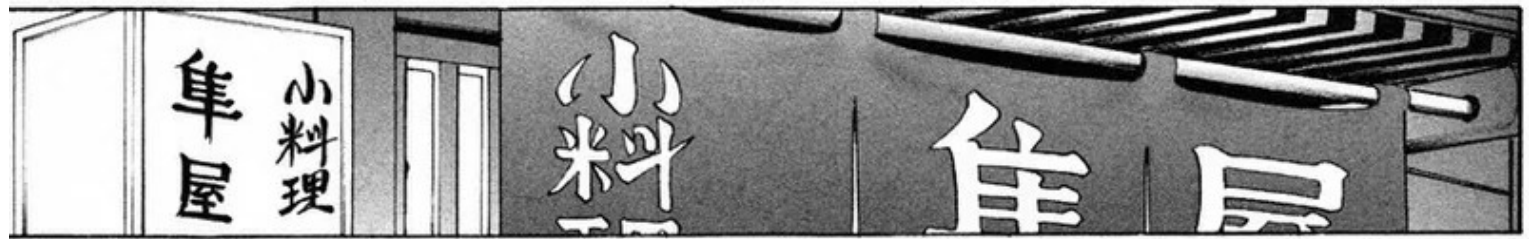
逃げるな  
針から身体を  
逃がすんじゃないエ

初めて墨を入れたいと  
思った時は何も感じなかった  
のは早く墨の衣で  
肌を飾りたいという  
思いが強かったからだろうな

そこまで  
わかるなら  
これからどうするか  
自分で決められるはず

俺は  
彫師で  
やっていける  
だろうか







鯉こいの自はく雲うんはその背にある  
のごとく滝を昇り

俺達の前に現れるだろう  
それが奴の宿命

錦鯉



摩周子



文身百華艶

第五話

ブラジルサンパウロ州  
1908年日本人農業移住者  
70人が異国の地をふんだ  
そしてその日本人達は  
コーヒー農園において  
苦勞に耐えながら  
独立への道を勝ち得  
その中にこの農園の  
独立者の男もいた

そして  
その血を受け継ぐ  
若者がいる

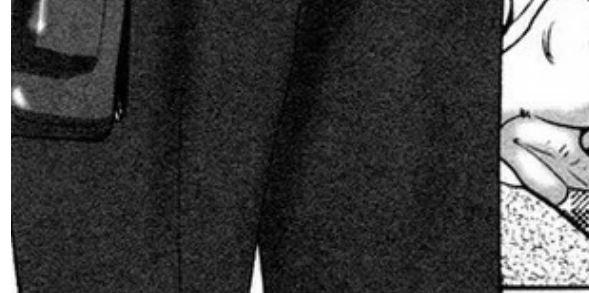




これが  
本当に  
おじいさんの育った  
日本なのか？



外人さん  
あんた祭りが  
見たいのか？



えっ？



今年の祭りも  
盛り上がってるから  
日本でのいい土産話  
になるよ

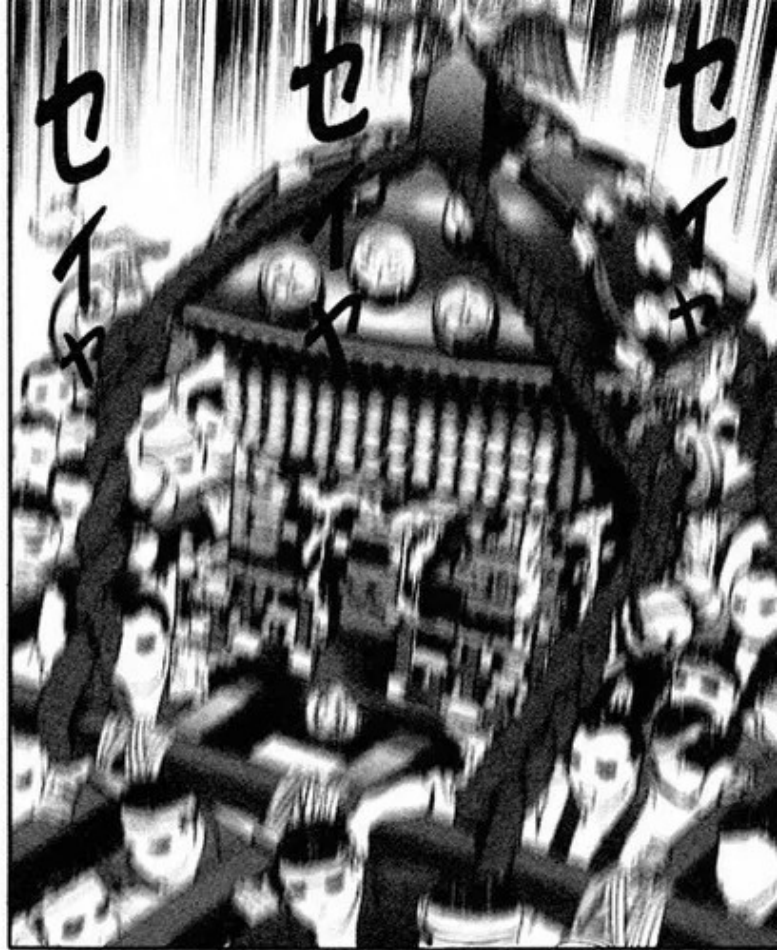


浅草？  
祭り？  
サンキュー



浅草？

その写真は  
祭りのだろ  
祭りが見たいのなら  
丁度浅草で  
やってるよ





みやい  
宮入りだ!



おじいさん  
この血の騒ぐ  
感じは何  
これが本当の  
JAPAN!



ペリイナイス  
最高でした



おう  
外人さん  
ありがとよ

せっかくだ  
あんたも  
こっち来て  
一杯やんな



あははは  
升酒はそこから  
呑むもんじゃねえよ





何外人に  
媚び売ってやがる!!

!?



オー  
ベリイナイス



この端っこに口を  
つけて呑むんだ



アメリカもブラジルも  
同じもんだろうが  
とつとつと向うへ  
行きやがれ



アメ公も  
なれなれしく  
寄ってくんじゃ  
ねエ

ノノ  
私アメリカ人じゃないです  
ブラジル人のジムって  
言います



手前のじいさんが  
戦争でアメ公に殺された事は  
国同士の争いの結果  
ここにいる外人さんには  
関係ねエ事だ

俺のじいさんは  
アメ公に殺されたんじゃねエ  
自らの手で腹かつさばいて  
死んだんだ



純平  
そう外人を  
気嫌いい  
すんじゃねエよ

もう昔の事は  
忘れな



オー  
サムライ  
スピリッツ



アメ公に殺されるほど  
みつともねエ死に方は  
してねエくんだよ!!



自らの手で  
自らの命を!



あなたも  
サムライか?

戦争で  
負けた事で  
どいつもこいつも  
外人と見れば  
ヘラヘラしやがって

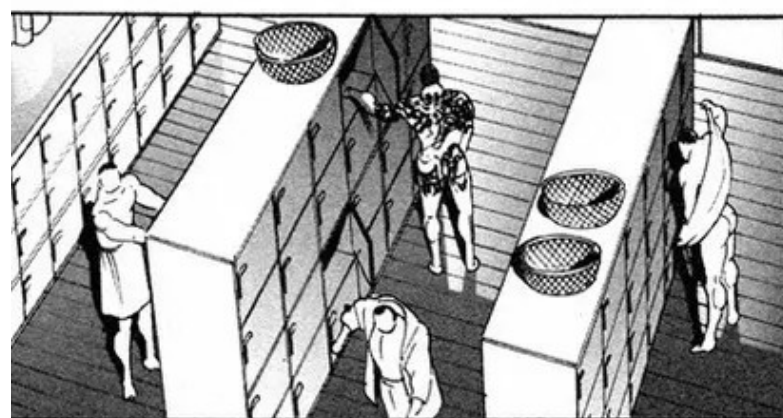


手前く!!  
何俺の後  
付けてんだよ!!



ノー  
私もちつちに  
用があるね

ちつ  
勝手に  
しやがれ



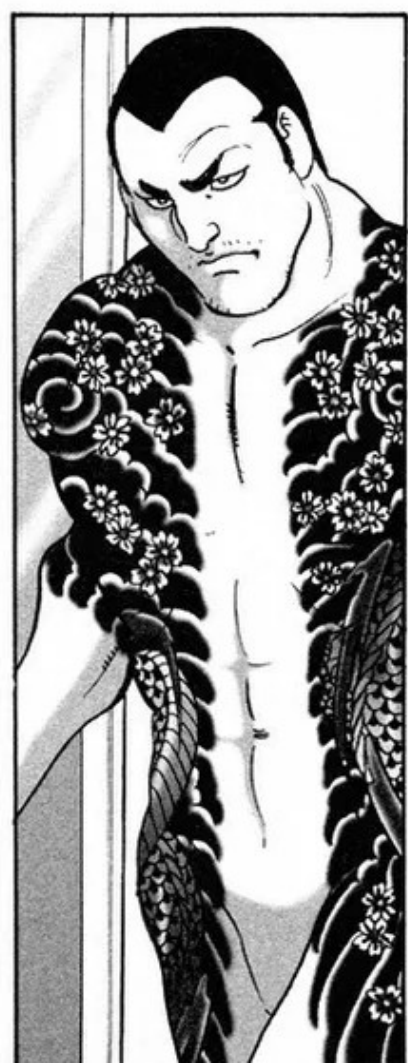
このバカ野郎  
何考えてやがる  
パンツぐらい脱ぎやがれ



オウ  
日本のジャグジーバス  
ですか



純ちゃん  
今日は決まっていたよ



ノー人前で  
私達は裸にならない



!!





OK  
わかったよ  
純平



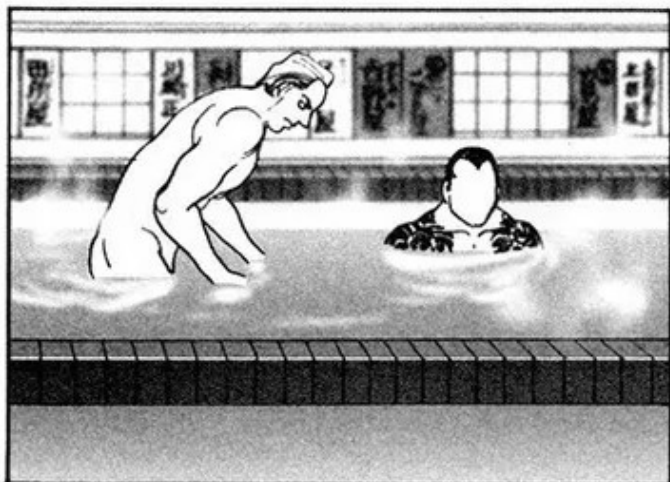
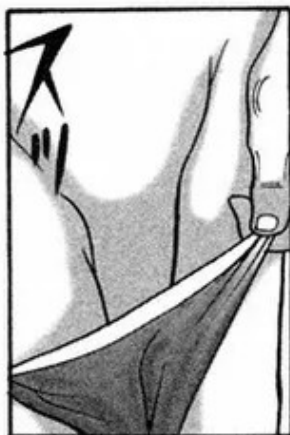
日本の流儀が  
嫌ならとつとと  
国に帰いな



ふざけるな!!  
ここは日本だ  
手前らの常識で  
やるんじゃねエ



これじゃ  
日本も戦争に  
負ける訳だ  
大きさが違わあ



くだらねエ事  
言つてつと  
ぶつとばすぞ  
ジジイ  
おー恐れ  
純平を怒らせたら  
何しでかすか  
わからんからな



純平  
あなたサムライボーイね  
僕のおじいさんも  
君と同じサムライだった  
僕はおじいさんの  
生まれ育った日本を  
知りたくてブラジルから  
来たんです



純平!!



サムライスピリッツのある  
純平にお願いがある  
僕に日本の文化を  
教えて下さい



ガラッ



よおいらつしやい  
純平  
今日の御輿  
決まってたよ



いらつしやい



で  
いつものでいいね



御輿に乗る事だけが  
今の楽しみだからな



へいいつもの定食  
今日は  
活きのいいのが  
入ったから  
旨いよ



連れなんかじゃ  
ねエーよ



お？  
あじか



純平と  
同じものを  
たのみます



!!



珍しいね  
外人さんが  
純平の  
友達なんて



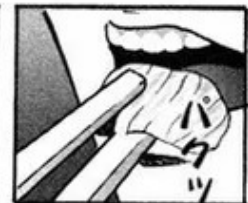
まだ生きてる  
それを食べるなんて  
残酷ね



魚は痛みなんて感じないんだ  
旨く食べてやる事で  
こいつも幸せってもんさ



日本の食いモンを  
気嫌いでして  
日本が理解できるか



オー  
おいしいです  
こんなおいしい魚  
初めてです



オー マスター  
このピーンズ  
古いです



はははは!!  
やっぱ外人さんには  
納豆は無理か



あ  
純平



マスター  
ごちそうさん  
代金 ここの  
置いとくよ



外人さん  
嫌いなモンは  
食わなくていいよ  
日本人だって納豆は  
食えねエ人多いんだ



僕にも  
日本の血が流れてる  
これ食べるよ



うう



ハクッ



それは



これから行って  
泊めてもらう  
つもりか？



もう  
行かなきゃ



すいません  
汚してしまつて



待ちな  
外人さん



あはは  
そりゃ心配いらねエ  
奴は毎朝  
店の前を通つて  
仕事に行くからな



けど今純平を  
追いかけるなら  
もう会えない



さつきから  
聞いてたらあんた  
日本の事知りたんだろ



マスター私にも  
その礼儀教えて  
下さい



明日純平に会いたければ  
今日は店の小上がりで  
休んでいきな



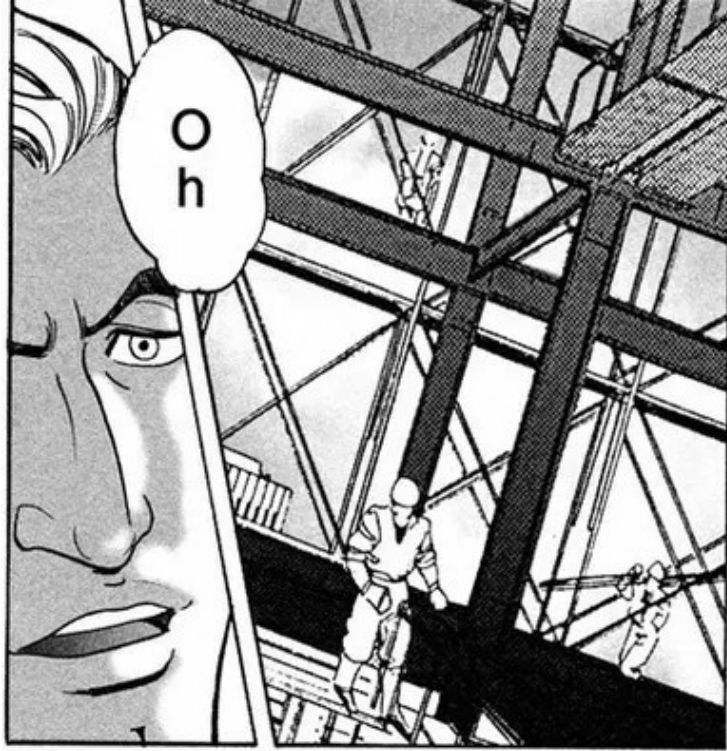
礼儀

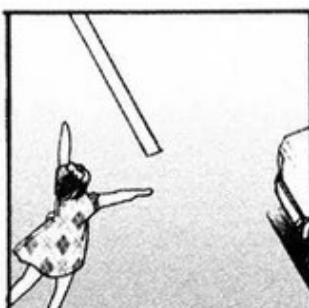
純平から  
日本について教えて  
もらいたいなら  
まず礼儀を覚えることだ



おはよう  
ございます









桃々



純平

桃々!!



ノー  
気にしないね  
純平

ジム  
足をケガしてる  
じゃねエか



ありがとうございます  
ジム  
何て礼を言っているのか



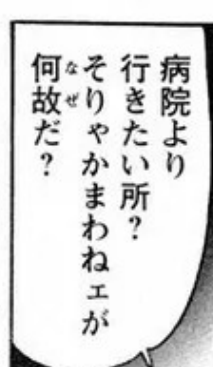
桃……  
無事で  
よかった

お父さん  
恐かったよオ



本気で  
言ってるのか  
思いつきなら  
やめときな

ジャハニーズ  
タトゥーアーティストの  
所に案内して欲しい  
僕もおじいさんの様に  
僕の体を日本伝統で  
飾りたい



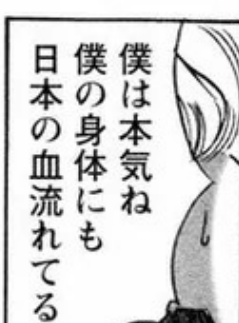
病院より  
行きたい所?  
そりやかまわねエが  
何故だ?



急いで  
病院に  
連れてってやる



純平  
お願いだ



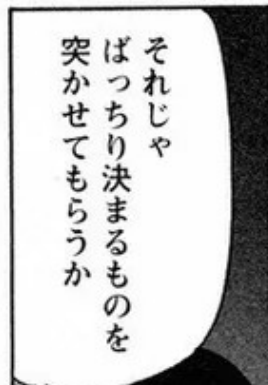
僕は本気ね  
僕の身体にも  
日本の血流れてる



本気  
みたいだな  
いいだろう  
案内してやる



このくらい平気ね  
病院より純平に  
連れてってもらいたい  
所がある





一年後—

セイヤ

セイヤ

セイヤ



その異質な顔を持つ

日本人は

みごとに墨で飾られた体を

初夏の風を浴び

御輿の上で宙に舞った



ジヤパニーズタトゥー  
それは絆

文身百華艶 第五話 / 完

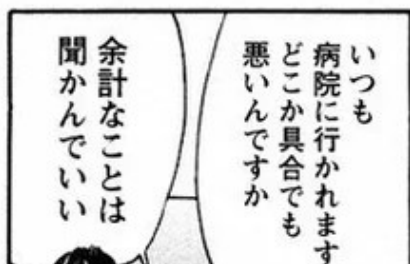
唐獅子牡丹

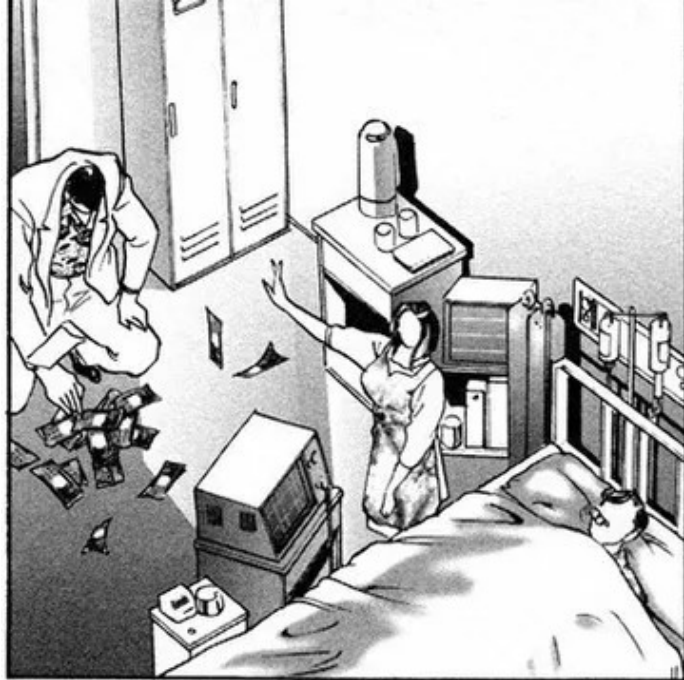


文身百華艶

第六話







こんな  
薄汚い金なんて  
受け取れないのよ  
もう顔も見たくない  
帰って〜!!



主人を  
元の主人を  
返して

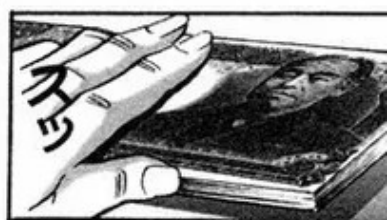
話すことも  
動くことも  
できないのよ



あんな達の様な  
社会のゴミの様な  
人のために  
何の関係もない  
主人がこんな……



本当に  
申し訳ありません





あの時の  
ボウズか  
大きくなったな

ボウズ  
俺を殺すなら  
もっと力を入れて  
刺さなきゃだめだ

ググツ

お……おい  
ちよつと待て  
とどめは……  
まだ……グツ

立花さん!?

ズッ

俺らみたいなのが  
ここで世話に  
なったら  
迷惑になる  
かわるな

待つて  
そんな体で  
無茶なこと

何をバカなことを  
その怪我早く  
処置しないと

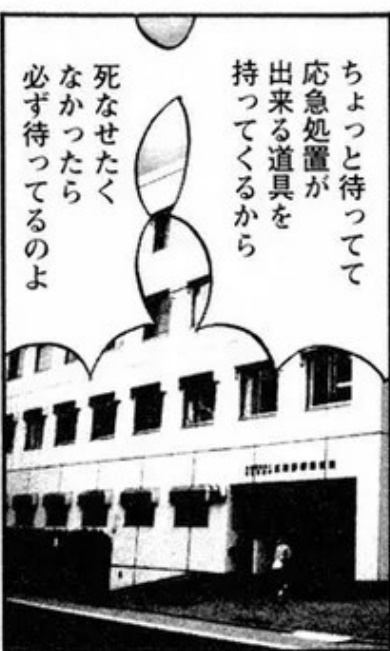
ちよつと  
どーしたんですか  
ま……まさか  
今の少年が

あつ!!  
兄貴

これは  
俺が勝手にやった事  
あのボウズには無関係  
わかるな

関係ないよ  
なんでもない  
ほっておいてくれ

何でもねエ  
いいから早く  
車を出せ



辛い傷は致命傷ではないけどしばらくは安静が必要よ

で……  
あの子は？

心配しないで何も言っていないし警察にも通報してないわ

そうか  
ありがとよ

看護婦さん取っていきな

どうしてあなた達って

すべて金で解決しようとするの私がお金が欲しくてここまで来て治療したんじゃないのよ

きつとあの家族も同じ事を思っているのよあなたの本当の誠意が見えないって

これが俺達ヤクザ者のやり方なんだ

もう用が済んだら帰ってくれ

帰る前に一つ聞かせてどうしてあの時ナイフをよけなかったの

さあ  
どうしてかな自分でも分からないあの子の好きにさせたかった……

どーして命をそんな粗末にするの

この世には生きるために必死になつてる人が大勢いるのに

私はここ数年貴方があの家族の元に足を運ぶのを見て来ました

見た目とは違う心優しい所があるんだって思っています

交通事故で運ばれる被害者に対し加害者がおわびをしに来る人は今はそんなにいない中貴方はそうじゃなかった

そんなこともわからねエバカ者なんだよ俺達は

あんた  
俺をいかかぶり  
過ぎだよ

立花さん  
どこかで罪の意識を  
感じてゐるなら  
今のお仕事を  
辞めた方が

俺に堅気かたぎになれだと  
くだらねエ事言つてねエで  
用が済んだら  
さっさと帰りな!!

わかりました  
今日の所は帰りますが  
また傷の様子を  
見に来ます

この俺が  
堅気かたぎにだと

ふざけるな!

その後  
その看護婦は  
いく度となく  
立花の住まいに  
足を運び

その看護婦と立花は  
傷の手当てを通して  
少しずつお互いの心を  
開いていくこととなる

立花さん  
傷口もだいぶ  
良くなりましたね

あんた  
何でヤクザ者の  
俺の事をこんな  
まで……

どうしてかな  
私にもわからないけど  
看護婦としての  
使命だからかな

貴方あなたの  
その肌の刺青いれものをみるたび  
怖くて足が痺しびんでいる反面  
何とか元氣げんきになって  
もらいたいって自分も  
同居どうきょしているの

あつ  
まだ起きちゃだめ

心配いらねエ  
もう大丈夫だ



わかったな



あっ  
立花さん



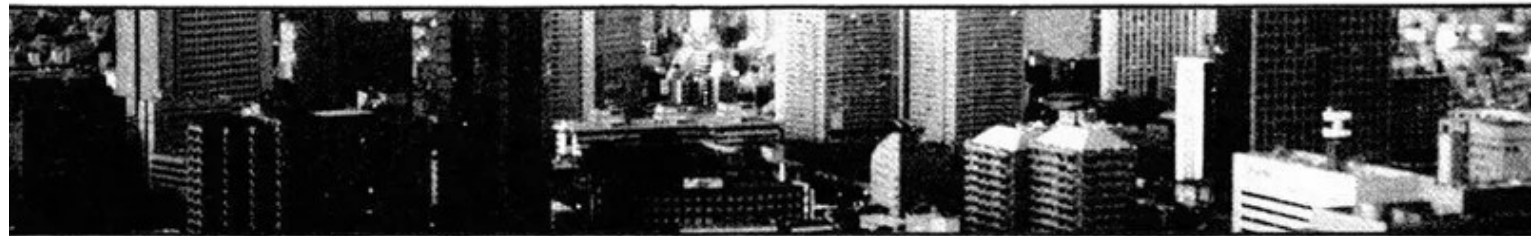
私そんなこと

ヤクザ者の部屋に  
出入りしてるなんて  
そこらで噂になったら  
あんた世間から白い目で  
見られることになる



それと  
あんたもう  
ここには来ちゃ  
いけねエ

スツ



奥の部屋に

チャツ

親父は？

お疲れさんです  
立花の兄貴



親父おやじ そんな  
お気遣いは  
なさらないで下さい

そうだ  
今月は龍次りゅうじの  
快気祝いでも  
やるか



親父おやじ  
ご迷惑を  
おかけしました

よオ龍次りゅうじ  
やつと出て来たか……  
思ったより元気そうじゃ  
ねエか



金城島組

それに今日は  
親父に折り入って  
話があつて  
来たんです

親父……  
俺は堅気  
になろうと  
思つてんです

何だと  
お前が  
堅気にだと  
ジョーダンだろ

何だ  
神妙なツラ  
しやがつて

本気だよ  
親父

根っからの  
ヤクザ者のお前が  
堅気でやってくると  
思つてるのか

一から  
出直すつもりです

そこまで  
考えているのか

だったら  
これ以上は引き止めねエが  
だが堅気になる前に  
お前にやつてもらいてエ  
ことがあるんだ

ボン

これからの  
若い者にお前の  
お手並み  
を見せてやってくれねエか

ヤクザ者としての  
置き土産をよ

四課の田所の野郎  
最近凶に乗つて  
きやがんだよ

倍だぜ倍……  
ヤクザ稼業も  
最近じゃ上がりも  
減つてるんだ  
それをあの  
デカの野郎

で……  
一体  
何を

頼むぜ  
龍次

わかりました  
親父さん





まもなく  
停車いたします  
開くドアに御注意下さい



ねえ  
ちよつと  
おじさん  
近づかないでよ



キヤアアアア  
死んでるくく!!



それから  
数ヶ月後



どーだい  
立花さん  
少しは慣れたかい  
ええ何とか  
なまっていた体が  
できてきました

けどこれだけ身体を  
痛めつけて働いても  
月給は  
さほどもらえねエ

ああの人は

私は  
働けるだけで  
満足です

中華飯店

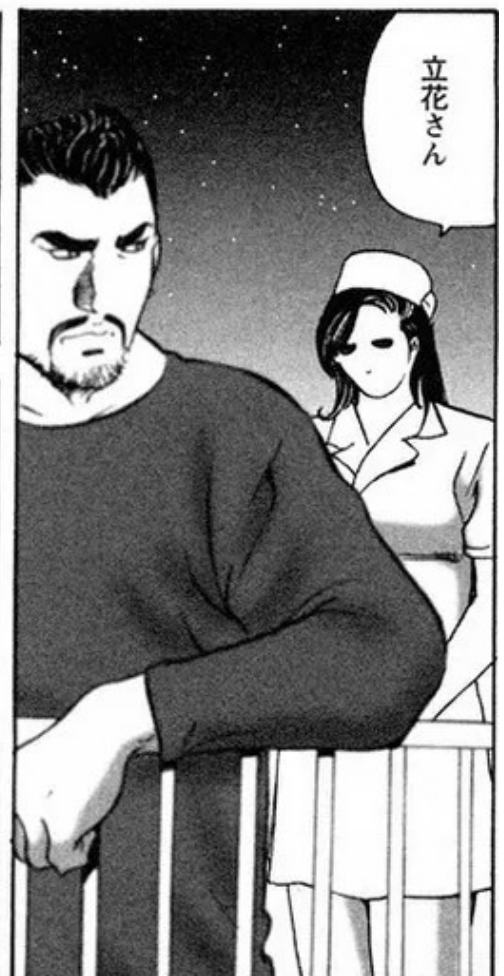
立花さん  
最近見かけないと  
思ったら  
ちゃんとした仕事  
始めたんだ

堅気かたいになって  
初めて金の重みが  
わかったこの仕事で  
もらう月給が  
今までなら3日も  
もたず消えちまってる  
本当にバ力者だな

立花さん  
ありがとうございます  
これは大切に  
使わせてもらいます

あなたが  
今までの生活を捨て  
汗水流して頂いた  
お給料だってことは  
こちらの看護婦さんから  
聞いています

給料





あつ  
花火……  
きれい



シューシュー



あんたのおかげで  
一時でも堅気の  
気分を味わう事ができた  
感謝してるよ



立花さんはもう  
立派ですよ  
これ以上何を  
精算するっていうの



ちゃんとした  
堅気になるには  
すべてを精算をしなきゃ  
だめだってことさ



どういう事？



この花火の様に  
俺の人生  
きれいに散って見せるのも  
俺の生き様なのかと



やっぱり  
俺はバカ者でしか  
ないんだろうな



だが  
その日を境に  
立花の姿を誰一人  
見る事はなかった



違うわ 立花さん  
他の人はどう見てるか  
わからないけど  
あの家族と私は  
貴方あなたのことを  
理解しています



その立花は  
警察官殺害の罪を  
償なぐさい自首  
無期懲役となっていた

一代限りの墨すみの華はな  
綺麗に散らす男華おとこはな



第七話



十数年前

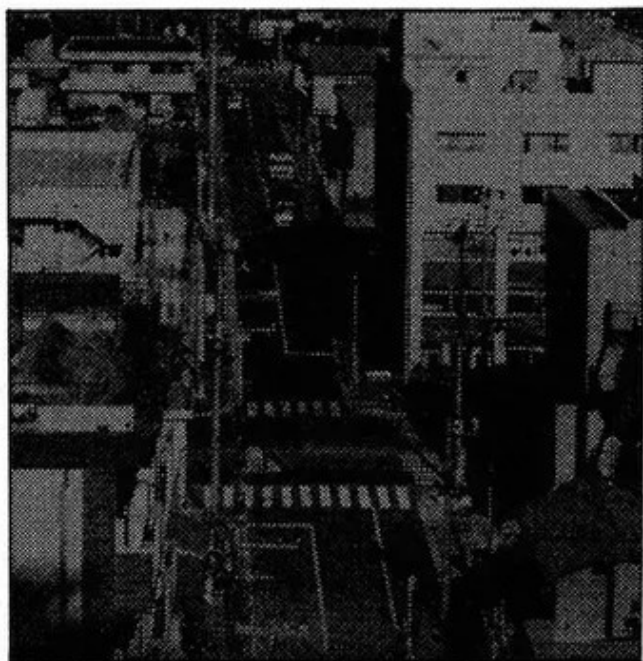
見ろよ凌ちゃん  
あのホステス  
なかなかいい女  
じゃねエか

ああ  
たまんねエ体してやがる

ちよつと  
あんたたち  
何企んでるか知らないけど  
うちの女の子に  
手エ出したら  
ただじゃおかないわよ

しかし  
たまんねエ  
この所女も抱いてねエ  
あの女とやりてエな

手彫りのノミは  
立ちの体を借りて  
突いてるが  
こつちのノミは  
ずいぶん突いてねエか





つべこべ言わず  
さっさと女の横に  
車をつけな



けどよオ



初めは抵抗する  
だろうが……  
女なんて股ぐらを  
突いちまえば  
言いなりだ



凌ちゃん  
マジやるつもりかよ

女一人犯るくらいで  
びびってんじゃねえよ



この時間の夜道は  
物騒だから  
送ってやるよ

あんたたちは  
さつき店にいた……  
私に何か用？



あっ!!

遠慮しないで  
乗りな!!



あんたたちの方が  
よっぽど妖しいわ  
遠慮しとく



早く車を出せ

あっ  
ああ



たまんねえな

あんた  
私にこんなことして  
後でただじゃ  
済まないわよ



そう  
言うなよ



フィク  
たまらんな

いや  
やめてエ!!



俺のノミで突かれたら  
そんなこと言えなく  
なるぜ



あつ

後ろから  
たっぶり突いてやる



!!

彫師  
二代目彫準



やっと見つけた  
見つけたぞ  
政!!

凌ちゃん  
どーしたんだよ



あつ凌ちゃん  
女が逃げた



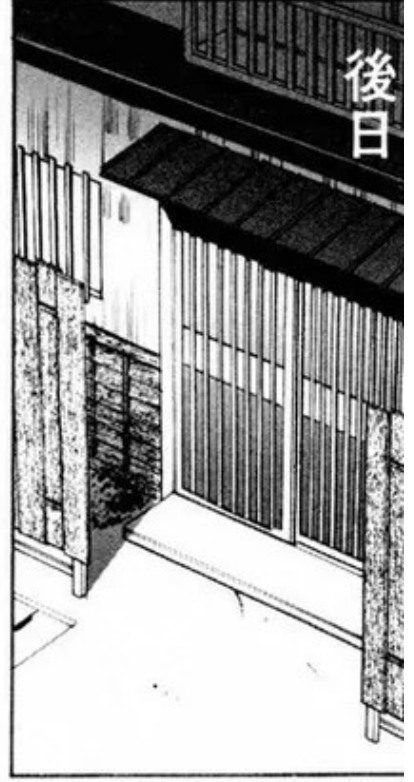
な 刺青!!  
二代目彫準だと



俺が技術を盗むべき  
彫師を見つけた



彫準さん  
俺を弟子に  
してくれ  
頼む



無理だな  
帰るな



自分で突ける  
場所は  
すべて突いた

バツ

これを見てくれ  
俺はこれだけ  
彫師にあこがれてんだ



何だよ  
そんなあっさり  
言うことねエーだろうが

断るにも  
もうちっと  
言い草ってもんがあるだろ



私の家まで  
何しに来たの!!

あんた  
ここの娘なのか?



あっ



何度も言うが  
俺は弟子は  
取らねエ

チヤツ  
チヤツ



そしてこの背中は  
俺の認める彫師の針を  
受けるために今だ  
まっ白に守ってるんだ

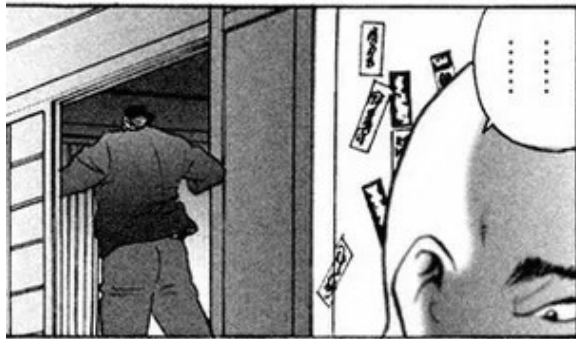


知り合いつて言えば  
知り合いかもね  
何せ私を……

何だ向日葵  
知り合いなのか



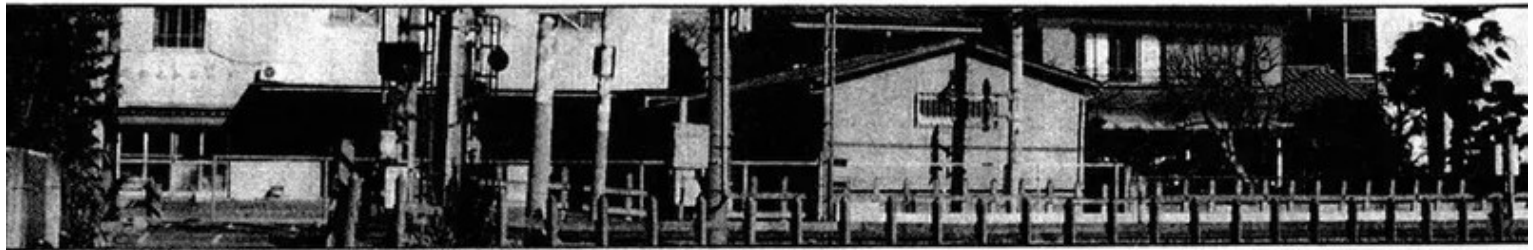
父さん  
これからお店に  
行って来ます



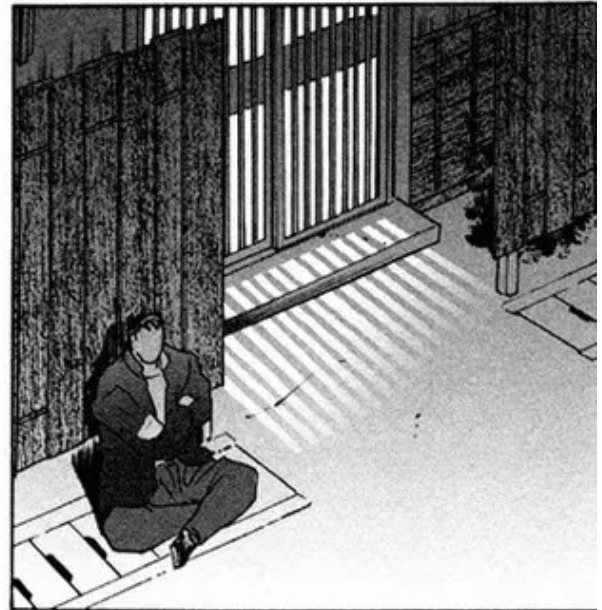
惚れた女を口説くか  
おもしれエことを  
言いやがる



俺は弟子にしてくれるまで  
あきらめねエ  
惚れた女を口説くのと同じように  
俺はあんたに惚れた  
必ず口説いてやる



必ず弟子に  
なつてやる



先生  
新しくお弟子さん  
取つたんですか？

ああ外にいる奴か  
ありや弟子じゃねエよ  
勝手に座りこんでる  
変わり者だ



そうなんですか  
いやね  
いいお弟子さんを  
入れたなって  
感心してたん  
ですよ



ねエお父さん  
大変よ  
ああの男が  
家の前に……

ああ  
知ってるよ  
いつまでもつか  
楽しみだな



ああの  
今日突いた  
墨見せて  
くれませんか



ガラッ



どうだ！  
今日もちと  
痛かったが  
それだけこいつは  
価値ある彫りモノだ



お願いします

随分  
刺青に熱心  
なんだな

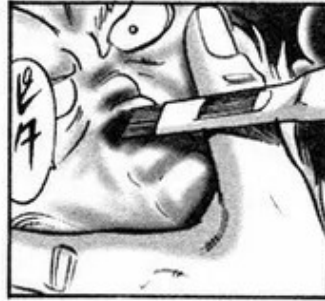




うう  
寒っ……



ああ  
しかし  
腹減ったな



来るたびに  
玄関先を掃除してる  
姿を見るし  
彫り終わった客の墨を  
真剣に見せて  
もらってるんですよ



あつ

今日はずいぶん  
冷えこんでやがる  
中に入れて  
飯でも食いな



ん……

起きねエか



熱いうちに  
食いな





前にも言ったが  
俺は弟子を取らねエ  
主義なんだ



いただきます



彫師稼業なんて  
簡単に弟子を取るほど  
偉そうなものじゃねエって  
俺は思ってるんだ

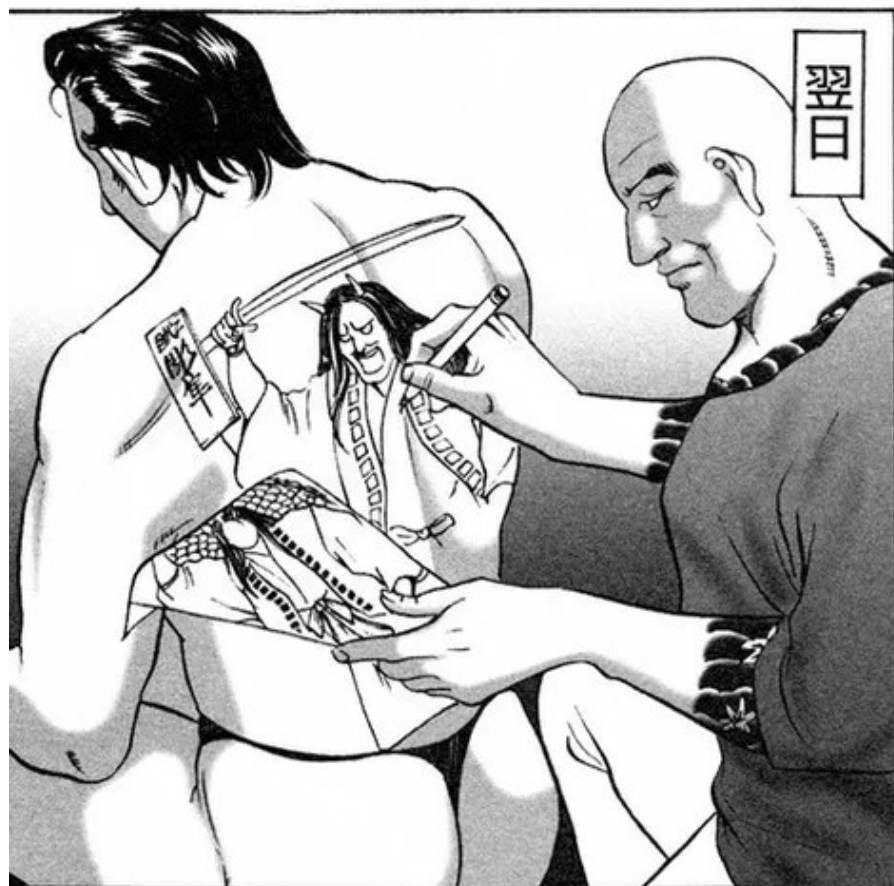


旨いっスノ

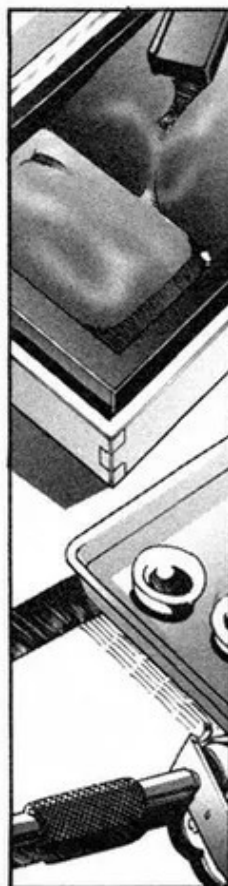


だがな  
俺の技術を  
盗みたいってなら  
勝手に盗めばいい

俺は誰にも  
技術を隠すことは  
しねエ……  
そして自分で考え  
試し自分のモノに  
すればいいのさ



明日



じ……  
じやあ



明日からお前の背中  
俺が突いてやる  
そしてその肌で針の動きを  
盗むことだ

何で俺の背に「滝夜叉姫」を



滝夜叉姫は父の平将門の無念の死を  
はらすために五月姫より  
滝夜叉姫と名を変え  
その滝夜叉姫は靈術をも  
身につけその後復讐に  
燃える姿はいつしか鬼と  
化したとされる人物

お前のその  
途な気持ちが  
刺青の鬼と化して欲しいと  
いう思いだ……



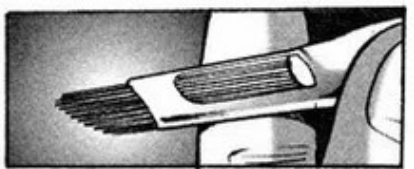
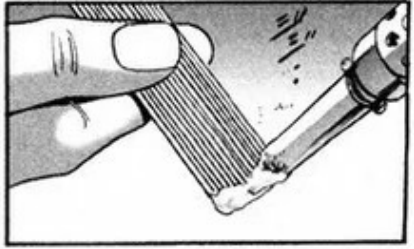
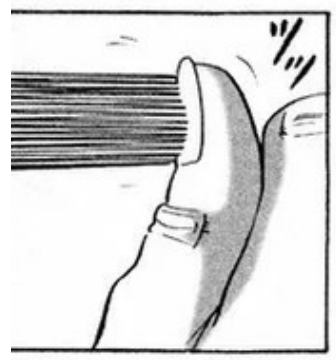
そして俺の肌に  
初めて彫準の  
針が入った



これが彫準の  
針なのか

その日から  
凌は彫準の  
動きを目で追い

その中で  
あらゆることを  
吸収していった



が……そんな  
ある時  
事件が起きた



り凌ちゃん……

政!!  
どーした  
何やってんだ手前



誰にやられた



ははは  
俺……ヘタやっちゃまって



ねエその店って  
もしかして  
「ホワイト・ラビット」  
って言わない?

それが  
その女妙に  
積極的で……つい



飲み屋の女に  
手エ出したら  
それが与太者の女で  
このザマだよ

お前らしく  
ねエーな



何人もの  
お客さんが  
言ってるから たぶん



何だとオ  
それ本当か



く詳しいね  
向日葵ちゃん……  
その店の  
ジョンって女……



凌ちゃん  
ままさか



やっぱり  
その店のことうちの  
お客さんからも  
聞いたことあるわ  
同じ手口で  
何人かやられてるって

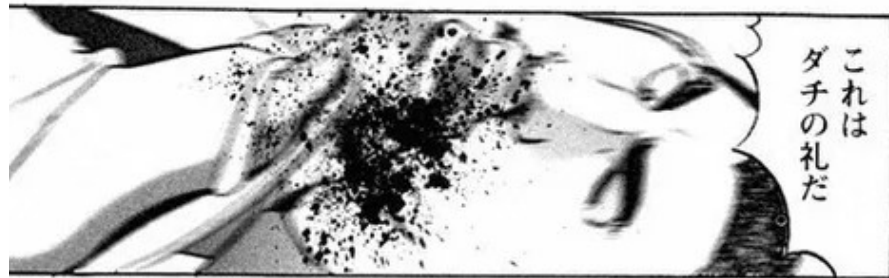


心配いらねエ  
ちよつと話しに  
行くだけだよ





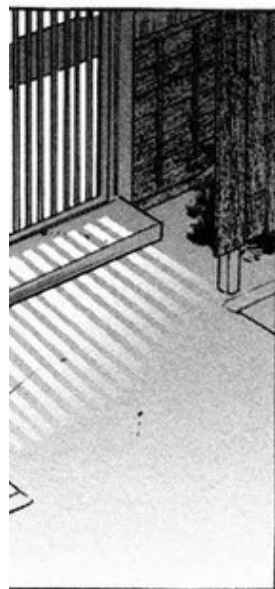
手前か  
ごちゃごちゃ言ってる  
ガキは



これは  
ダチの礼だ



手前こそ  
女を使って  
セコイマネしてんじやねえよ



ああんた  
しつかりして！





ああ……  
あなたの  
好きにいな



あやまりに  
来たってことは  
何されても文句は  
ねえんだよな



えんりよ  
遠慮なく  
やらせて  
もらうぜ



お願いだ  
俺は影師しか  
目指す道が  
ねえんだ



そして俺は  
この時にほんの少し  
彫師の世界に足を  
踏み入れられた気がした





ああ あんたに  
断られるなら  
俺は極道になる



そんなに  
彫師になりてエのか



お前の気持ちは  
わかった  
だがさっきも言ったように  
今は弟子を取らねエ



巧 タカ しばらく  
面倒みてやれ

わかりました  
彫鼻 ハナウツ さんが  
そう言うなら



そのかわり  
今の弟子の巧の下で  
少し勉強してみろ  
弟子にするかどうかは  
その後だ



俺は  
山崎 ヤマザキ 鱗太郎 リンタロウ



よろしくな  
はい



……で  
お前名前は

そして、またここに  
刺青道を  
歩まんとする  
者が誕生す  
その道はまさに鬼の道

# 文身百華艶 1

漫画：摩周子

©摩周子

※本書の無断複製・複写・転写を禁じます。